

須磨浦学園 120年史



2022
Sumaura





須磨浦学園 120年史



須磨浦学園は 120周年を迎えました。



Contents

刊行の挨拶	4
110年目からの歩み	6
誌上同窓会	10
須磨浦最新事情	14

先生紹介	18
須磨浦学園110年の成長史	20
須磨浦の教育方針	32
学校の活動	34

120年目の子どもたちの1年 幼稚園	38
120年目の子どもたちの1年 小学校	40
卒業者数	46
校舎平面図	47

校歌	48
須磨浦学園役員名簿	

刊行の挨拶



理事長
角南 忠昭

須磨浦学園創立120周年を祝って

須磨浦学園創立120周年を迎えることができます事は、長い歴史の中で、先輩諸兄の並々ならぬご尽力を賜り続けたことと敬意を表します。

私としては10年前理事長としてスタートし早くも10年が経過致しました、感慨深く思っております。

現在、幼稚園児を含めて170名もの児童・園児が元気に勉学に励んでおり、兵庫県下で最も古い私立の小学校であります。今後も教育の水準も極めて高度なものを持っていると自負出来るよう「体・徳・知」を教育方針としてバランスのとれた人間教育に努めることを継続していく必要があると考えております。

改めて当初の建学の精神「たくましい身体、思いやりと誇り、伸びやかな知性を育てる」に立ち返り、時代の変化もとらえて、より高度なものとして継続発展させていきたいと考えております。

さて、改めてこれから先の時代は少子高齢化等がより顕著になり、又、近年はコロナ流行により学園運営もいろいろと従来の考え方ではなく、新しい考え方が必要と思われる。言わば伝統に則り、革新も求められていると思われる。この歴史ある須磨浦学園をますます発展させる為にも、理事、評議員の皆様、学園長、校長、全教職員の皆様、また保護者(父母の会)の皆様のご協力をお願い申し上げます。



幼稚園長
玉井 英夫

120周年に想う

輝かしい歴史と伝統そして文化を持つ須磨浦学園がここに創立120周年を迎えましたことを心からお祝い申し上げます。

明治35年、この須磨浦の地に学園が創立され、明治・大正・昭和・平成・令和と時代が変遷する中であっても、幼少期の教育の重要性を証左する学校として須磨浦学園の教育は燦然として屹立していると思っています。

人間の骨格作り、人格形成期にあつて須磨浦精神である【体・徳・知】こそがその真骨頂だと思っています。

須磨浦幼稚園は令和4年4月1日から幼稚園型認定こども園に移行しました。(通称「須磨浦幼稚園」)縮小社会日本の潮流は男女共同参画社会であると共に子どもたちの就学前教育は社会全体で担うという考えに近接する制度は【認定こども園】と確信が持てたからでした。120年を迎えた須磨浦学園の中で須磨浦幼稚園も50年・100年先を見据えて教育環境の整備・教育内容のますますの充実化・発展に努力していきたいと考えます。



学園長
山本 義和

時を刻み続けて120年

須磨浦学園が輝かしい伝統のもと、創立120周年を迎えることができ、喜びでいっぱいです。これも、長い年月に渡り学園をお支えいただきました皆様方のおかげと心から感謝申し上げます。

本学園が創立されました明治35年(1902年)、その頃の日本は欧米先進国に追いつこうと懸命な努力が重ねられていました。近代化が急速に進められ、日本の産業革命と呼ばれる時代に当たります。風光明媚な須磨の地に、財をなした政財界の人たちが競って別荘や居を構え始めます。そして、その人たちが、子弟にレベルの高い教育を受けさせるために小学校を設立されたそうです。それから、日露戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦、高度成長期、阪神淡路大震災、リーマンショック、新型コロナウイルス感染症、ウクライナ危機など、政治、経済、社会の激しい変化の120年を歩んできました。

本学園は、兵庫県で最も歴史のある私立小学校です。「体・徳・知」を教育方針として、バランスのとれた人間教育に努めてまいりました。恵まれた自然環境に囲まれて、創立以来、一学年一学級の少人数教育にこだわってきました。明るく自由な雰囲気の中で、児童一人一人の個性を見出し、豊かに伸ばしてきました。そして、一年生から六年生までの全校児童と教員がお互いを知り合う和気あいあとした校風を作り出してきました。

健やかに、たくましく、情緒豊かに育った児童は卒業後、政治、経済、学術、文化など、各方面で多彩な活躍をしています。多くの方が国際社会でも高く評価されています。創立から120年、輝かしい伝統と蓄積された教育力を活かして、すべての児童が未来へはばたくための基盤をしっかりと築けるよう、学園の総力を挙げて取り組んでまいります。

須磨浦学園への応援よろしくお願いたします。



同窓会長
鍛冶川 清司

須磨浦学園創立120周年を祝って

須磨浦学園創立120周年を迎えました事を心からお祝い申し上げます。故小曾根有会長から同窓会会長を受け継ぎ5年が経過致しました。この2年はコロナ渦で同窓会活動も休眠状態で学園運営に十分なお協力が出来ておらぬ状況でございますが、山本学園長、岩渕校長、佐山教頭をはじめとする教職員のご努力下、この状況下でも素晴らしい学園運営が出来て参りました。学園の創立以来の素晴らしい教育方針である「体・徳・知」のもと、ICT機器を活用し時代の変化に対応する教育を進められております。

少子高齢化が続く日本ですが学童数の減少で、私立小学校の運営は年々難しさが増しております。須磨浦小学校も入学者数は増減を繰り返しており、安定経営に必要な在校生者数180人を超える事が出来ない年が続いております。

私が入学した年に完成しました校舎も70年近く経過し、老朽化が進み毎年の如く大規模な補修工事を実施しております。須磨浦小学校の現在の財政状況、須磨浦維持会への寄付金の現状からでは新校舎建設には10~20年の年数が必要と思われます。

卒業生の皆様には今後共なお一層の須磨浦学園へのご支援宜しくお願い申し上げます。



校長
岩渕 正文

発刊にあたって

本年、私たちの須磨浦学園が創立120周年という節目を迎え、誠に喜ばしい年であります。本校は明治35年、当時神戸の政財界のリーダー7人によって創立されました。この時期は、明治政府が近代国家建設に力を注ぎ、新しい体制が次々と創り出された時でもありました。このような時代背景の中、世界に通用する人材の育成を目指し小学校が創立されました。知識の習得を第一にした「知・徳・体」が国家の方針であった当時においては、本校の体づくりを最も重視した「体・徳・知」の教育方針や完全給食の実施は画期的なものでした。

創立から120年を迎え、時代と共に教育の方法は変わってきました。特に創立110周年からの10年間は、外国語教育や道徳の教科化、ICT機器の活用など大きな変化がありました。しかし、創立以来の1学年1学級の少数精鋭教育、1年生から6年生まで全児童がお互いを知り合う和気あいあとした校風、大正10年に制定された校訓は今も教育の基本精神として受け継がれています。教育の方法が変われども本質は変わりありません。今後も伝統を継承しつつ将来社会に役立つ人間育成を目指し、日々努めていきたいと考えています。



父母の会会長
泉 藍

創立120周年にあたって

須磨浦学園創立120周年、誠にありがとうございます。父母の会を代表して心よりお慶び申し上げます。またこの記念すべき一年に携われたことに、心より感謝いたします。これまでの120年間には多くの歴史があり、伝統と絆が生まれてきたのではないのでしょうか。今日まで3273人の子供たちの巣立ちを助け、社会のあらゆる場で活躍する人材を送り出してくださいました。

120年の間に社会情勢も子供たちの環境も変化してまいりました。その間、子供たちの学びを途切れさせることなく繋いでこられた先人、先生方のご苦勞には感謝し尊敬いたします。

学園に通う子供たちの目はキラキラとしています。宿泊訓練で先生に見せていただいた天体の話、社会の先生に教わった神戸の歴史。6年生のお兄さんに教えてもらった虫の名前、4年生のお姉さんに教えてもらった歌やダンス。6年間でお互いのいろんな面を認め合えるようになる同級生。子供たちにとっても親にとっても成長できる学園生活なのではないでしょうか。ご家族が須磨浦小学校の卒業生の方もいらっしゃるでしょう。そして、いま在学している子供たちもいつかこの父母の会に所属する日がくるかもしれません。子供たちの健やかな成長と明るい未来を願う保護者の想いは120年前も今もこれからも変わりません。

諸先輩方の築いてこられたよき伝統を引き継ぎ、10年先またその先の未来へつないでいけるよう父母の会として活動してまいりたいとおもいます。

創立120周年、誠にありがとうございます。

110年目からの歩み

2012年度

平成24年

- 10月 5日 第110回創立記念日
- 12月17日 第27回「WE LOVE トンボ」絵画コンクール 文部科学大臣賞 5年生 千葉 花連
- 12月17日 マロニエ賞 5年生 千葉 花連
- 1月29日 第64回KOBECODOMO音楽会出演（神戸文化ホール）
- 2月 7日 6年生修学旅行 ～16日（アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド リッチモンド小学校）
- 2月16日 第32回「こうべユース賞」 5年生 千葉 花連
- 3月 6日 第110回卒業証書授与式（110回生33名）
- 3月14日 神戸国際中学校・高等学校及び兵庫大学附属須磨幼稚園・加古川幼稚園と「連携協定書」に調印（神戸国際中学校）

平成25年

2013年度

平成25年

- 4月 9日 入学式（116回生31名）
- 6月 3日 6年生の算数と理科において、希学園講師と本校教員による「コラボ授業」開始
- 6月27日 国際交流プログラム ～7月1日（リッチモンド小学校ホームステイ受け入れ）
- 10月 5日 第111回創立記念日
- 12月10日 父母の会講演会 篠原 嘉一氏
「スマホってだいじょうぶ」～ポータブルゲーム機やスマートフォンに潜む危険～
- 2月 6日 6年生修学旅行 ～15日（アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド リッチモンド小学校）
- 3月 5日 第111回卒業証書授与式（111回生32名）
- 3月31日 須磨浦幼稚園 第15代園長 山本 義和 退任

平成26年

2014年度

平成26年

- 4月 1日 須磨浦幼稚園 第16代園長 玉井 英夫 就任
- 4月 9日 入学式（117回生19名）
- 6月18日 国際交流プログラム ～23日（リッチモンド小学校ホームステイ受け入れ）
- 10月 5日 第112回創立記念日
- 10月23日 講演会 神戸女学院中等部・高等部部长 林 真理子先生（本校65回生）
- 11月 4日 父母の会講演会 田中 恵子氏「YOU ARE SPECIAL」
- 2月 6日 国際交流プログラム ～14日（アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド リッチモンド小学校）
- 2月18日 6年生修学旅行 ～20日（沖縄本島へ行先変更）
- 3月 4日 第112回卒業証書授与式（112回生35名）

平成27年

2015年度

平成27年

- 4月 9日 入学式（118回生22名）
- 6月 1日 親和中学校と「指定校推薦入試に関する協定」に調印（親和中学校）
- 6月17日 国際交流プログラム ～23日（リッチモンド小学校ホームステイ受け入れ）
- 9月12日 第14回神戸市小学校社会科作品展 国土交通省国土地理院長賞 5年生 内藤 大智
- 10月 5日 第113回創立記念日
- 11月13日 父母の会講演会 中井 俊巳氏「子どもが将来伸びるために親が今できること」
- 1月14日 第19回全国児童生徒地図優秀作品展 奨励賞 5年生 内藤 大智
- 2月 5日 国際交流プログラム ～13日（アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド リッチモンド小学校）
- 3月 3日 第113回卒業証書授与式（113回生31名）

平成28年

2016年度

平成28年

- 4月11日 入学式（119回生26名）
- 4月14日 アフタースクールとして「レプトン英語教室」開講
- 5月16日 啓明学院中学校と推薦入試の「協定書」に調印（啓明学院中学校）
- 6月22日 国際交流プログラム ～28日（リッチモンド小学校ホームステイ受け入れ）

2016年度

平成28年

- 7月 7日 滝川第二中学校と推薦入試の「協定書」に調印（滝川第二中学校）
- 9月 1日 甲南女子中学校と推薦入試の「協定書」に調印（甲南女子中学校）
- 10月 5日 第114回創立記念日
- 11月 4日 父母の会講演会 「アレックス M 林先生の出前授業 in 須磨浦」
- 12月19日 鈴木 治雄 元理事長 逝去
- 2月10日 国際交流プログラム ～18日（アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド リッチモンド小学校）
- 3月 3日 第114回卒業証書授与式（114回生28名）

平成29年

2017年度

平成29年

- 4月11日 入学式（120回生29名）
- 6月22日 国際交流プログラム ～27日（リッチモンド小学校ホームステイ受け入れ）
- 10月 5日 第115回創立記念日
- 11月 2日 父母の会講演会 スーパーストリングスコーペ 演奏会
- 1月20日 須磨浦幼稚園 創立100周年記念式典・祝賀会（於：シーパル須磨）
- 2月 9日 国際交流プログラム ～17日（アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド リッチモンド小学校）
- 2月28日 隣接地（168.32㎡）を購入 学習園として整備・活用
- 3月 2日 第115回卒業証書授与式（115回生20名）

平成30年

2018年度

平成30年

- 4月10日 入学式（121回生34名）
- 5月29日 賢明女子学院中学校と推薦入学「協定書」に調印（賢明女子学院中学校）
- 6月21日 国際交流プログラム ～26日（リッチモンド小学校ホームステイ受け入れ）
- 8月18日 アートフェスティバル2018 県知事賞受賞 5年生 吉田 美央
- 9月15日 第17回神戸市小学校社会科作品展 国土交通省国土地理院長賞 6年生 前野 琴巴
- 10月 5日 第116回創立記念日
- 11月 8日 父母の会講演会 佐藤 亮子氏「小学校の学びの大切さ」
- 11月 9日 神戸市小学校読書感想文コンクール 最優秀賞 6年生 前野 琴巴
- 1月 8日 第22回全国児童生徒地図優秀作品展 奨励賞 6年生 前野 琴巴
- 2月 8日 国際交流プログラム ～16日（アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド リッチモンド小学校）
- 3月 1日 第116回卒業証書授与式（116回生30名）

平成31年

2019年度

平成31年

令和元年

- 4月 9日 入学式（122回生14名）
- 5月 1日 《天皇即位の日》元号が「令和」に改元される
- 6月10日 馬淵教室講師と本校教員による「コラボ授業」開始
- 6月20日 国際交流プログラム ～25日（リッチモンド小学校 ホームステイ受け入れ）
- 9月 3日 松蔭中学校と推薦入学「協定書」に調印（松蔭中学校）
- 10月 5日 第117回創立記念日
- 11月 1日 父母の会講演会 ロザン「ロザン流学習スタイル」
- 11月 5日 兵庫県南海トラフ地震津波一斉避難訓練
- 2月 7日 国際交流プログラム ～15日（アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド リッチモンド小学校）
- 2月27日 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、首相による学校園休校の要請
- 3月 2日 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休業 ～20日
- 3月 3日 第117回卒業証書授与式（117回生22名）
- 3月31日 須磨浦小学校 第17代校長 山本 義和 退任

令和2年

110年目からの歩み

2020年度

令和 2年

- 4月 1日 須磨浦小学校 第18代校長 岩淵 正文 就任
- 4月 7日 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、兵庫県に緊急事態宣言発出 ～5月21日(45日間)
- 4月 9日 入学式 (123回生 35名)
緊急事態宣言に伴う臨時休業、自宅でのリモート学習開始 ～5月31日
- 4月27日 1・2年生宿泊訓練 (～28日) 中止
- 5月 9日 園遊会 中止
- 5月25日 全国において緊急事態宣言全面解除 (兵庫県は5月21日付で解除)
- 6月 1日 学校園再開
- 6月 2日 分散登校開始
- 6月15日 通常登校開始、40分×7時間授業を実施 (年度末まで)
- 6月18日 国際交流プログラム 中止 (リッチモンド小学校 ホームステイ受け入れ)
- 6月21日 学園音楽会 中止 →音楽発表会 6年生10/19、5年生11/27、3・4年生12/1、1・2年生12/2
- 6月25日 隣接地 (169.28㎡、(土地・建物 130.93㎡)) を購入 学校用地として将来的に使用するため
- 7月20日 4・5年生余島サマースクール (～22日) 中止
- 8月21日 第2学期始業式 (夏季休業日短縮のため)
- 10月 5日 第118回創立記念日
- 10月11日 学園運動会 中止 →運動発表会 3・4年生10/14、5・6年生10/15、1・2年生10/16
- 11月11日 父母の会講演会 ピーター・フランクル氏「我が子が幸せになるための助言」オンラインで開催
- 11月29日 全校日曜参観 中止 →学園作品展は日時を変更して開催 (11/27～12/2)
- 1月14日 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、兵庫県に緊急事態宣言発出 ～2月28日(46日間)
- 1月21日 3年生とちのき村ウインタースクール 延期 →3月11日～12日
- 2月 国際交流プログラム 中止(アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド リッチモンド小学校)
- 2月18日 6年生修学旅行 中止 →修学遠足 (鷓野飛行場跡、ネスタリゾート)
- 2月21日 小倉 和美 元学園長・小学校長・幼稚園長 逝去
- 3月 3日 第118回卒業証書授与式 (118回生 22名)

令和 3年

2021年度

令和 3年

- 4月 5日 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、兵庫県にまん延防止等重点措置を適用 ～24日
- 4月 9日 入学式 (124回生 34名)
- 4月25日 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、兵庫県に緊急事態宣言発出 ～6月20日(57日間)
- 5月11日 1・2年生宿泊訓練 (～12日) 中止
- 6月21日 兵庫県において緊急事態宣言解除、まん延防止等重点措置を適用 ～7月11日
- 6月24日 国際交流プログラム 中止 (リッチモンド小学校 ホームステイ受け入れ)
- 6月26日 小学校音楽会 体育館において二部制で開催
- 7月19日 4・5年生余島サマースクール (～21日) 中止
- 7月23日 東京オリンピック2020 ～8月8日
- 8月 2日 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、兵庫県にまん延防止等重点措置を適用 ～19日
- 8月20日 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、兵庫県に緊急事態宣言発出 ～9月30日(42日間)
- 8月24日 東京パラリンピック2020 ～9月5日
- 10月 3日 小学校運動会 低・中・高学年ごとに開催
- 10月 5日 第119回創立記念日
- 11月11日 父母の会講演会 落語家 てんご堂雅楽 「心は持ちよう」「動物園」
- 11月20日 第36回「WE LOVE トンボ」絵画コンクール 銀賞 3年生 藤原 大路
- 11月28日 全校日曜参観・学園作品展 四部制にして実施
- 12月 2日 私立小学校教育振興功労者 文部科学大臣表賞 山本 義和 学園長
文部科学大臣 優秀教職員表彰 島田 健一 教諭

2021年度

令和 3年

- 私立小学校 永年勤続者表彰 岩淵 正文 校長
- 私立小学校 永年勤続者表彰 尾崎 加代子 元副校長

令和 4年

- 1月20日 3年生とちのき村ウインタースクール ～21日
- 1月27日 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、兵庫県にまん延防止等重点措置を適用 ～3月21日
- 2月 4日 国際交流プログラム 中止
(～11日)(アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド リッチモンド小学校)
- 2月24日 6年生修学旅行 (～26日) 中止 →修学遠足 (鷓野飛行場跡、ネスタリゾート)
- 3月 9日 第119回卒業証書授与式 (119回生 24名)

2022年度

令和 4年

- 4月 1日 須磨浦幼稚園が幼稚園型認定こども園に移行
- 4月11日 入学式 (125回生 21名)
- 4月12日 「Kei 音楽教室」「コスモ体操教室」開講 (アフタースクールが6講座となる)
- 4月27日 1・2年生宿泊訓練 ～28日 (奥猪名健康の郷) →3年ぶりに実施
- 5月 9日 創立120周年記念 小学校図書室 リニューアル
- 5月28日 創立120周年記念 学園運動会 開催 →音楽会と運動会の開催時期を春と秋で入れ替え
- 6月 1日 図書室に「岩淵校長文庫」開設 (蔵書 800冊寄贈)
- 6月23日 国際交流プログラム 中止 (リッチモンド小学校 ホームステイ受け入れ)
- 7月20日 4・5年生余島サマースクール ～22日 →3年ぶりに実施
- 9月 2日 創立120周年記念 航空写真撮影
- 9月23日 創立120周年記念 園遊会 開催 →3年ぶりに開催
- *10月 4日 創立120周年記念 園児・児童式典 開催
- 10月 5日 第120回創立記念日
- *11月 6日 創立120周年記念 学園音楽会 開催 (明石市民会館アワーズホール)
→音楽会と運動会の開催時期を春と秋で入れ替え
- *1月27日 3年生とちのき村ウインタースクール ～28日
- *2月 5日 全校日曜参観・創立120周年記念 学園作品展 開催 →開催時期を2学期から3学期へ変更
- 2月 8日 国際交流プログラム 中止
(～14日)(アメリカ合衆国オレゴン州ポートランド リッチモンド小学校)
- *2月20日 6年生修学旅行 ～22日 (長崎県へ行先変更)
- *3月 7日 第120回卒業証書授与式 (120回生 25名)

月日欄の*印は予定を表す(令和4年10月1日現在)

誌上同窓会



藤田 昭彦
51回生 昭和29年卒業

還暦2回りの歴史と伝統に敬意と慶賀を表します。入学時、運動場隅にあったコンクリートの塊は小型防空壕、間もなくジャングルジムに交代。校舎との位置が今は逆だった園舎前に助木、横に鉄棒と相撲もとった砂場。全校生200人足らず、別の学年の子も分かる家庭的雰囲気。夏は海まで歩き水泳訓練、冬は天突き運動(分かるかな)。給食は「母の会」が手づくり、1週間の献立が書き出されて楽しみ。修学旅行は保護者同伴も。講和条約発効の日、空は晴れ、渡辺先生引率で裏山に上り万歳三唱。知的障害がある子も6年間の学び舎を仲良く卒業、理想的教育。歳歳年年、人同じからず。卒業から68年、他界、転居、米国移住。入学式の写真は児童31人と担任の安田先生、近藤校長。



大辻 馨
56回生 昭和34年卒業

70年程前、須磨浦で男の子2人を相手に喧嘩になった。私は小さな椅子を振り回し、相手が怯んだすきに泣きながら逃げ出した。校舎の裏を伝って校庭まで逃げたら、友達と遊んでいた同級生のA子ちゃんが私を見つけて話しかけてきた。「かおるちゃん、どうして泣いてるの?一緒ににおまごとしましょ!」その日家に帰ると私は母親に宣言した。「おかあちゃん、ボク大きになったらA子ちゃんと結婚するねん!」例の男の子たちともその後は喧嘩を忘れて仲良く過ごしたように、私の決意もいつか成長につれて忘れられ実現することはなかったが、ほろ苦い須磨浦の思い出は沢山の楽しい思い出と共に今も私の脳裏に鮮明に残っている。



落合 健介(須磨浦同窓会 関東支部長)
62回生 昭和40年卒業

創立120周年おめでとうございます。須磨浦学園には幼稚園の2年間を含め、計8年間お世話になりました。幼稚園時代の当時の岡崎理事長のご自宅のお庭への遠足を始めとして、自由科の授業、小学6年生時の伊勢旅行等、当時の先生方や父兄が最高の内容の経験をさせてあげたいと用意してくださった行事の思い出が数多くあり、今更ながら非常に恵まれた教育環境にあったと、しみじみと思います。高邁な建学の精神と、須磨という地域の洗練された環境がそれを可能にしたものだと考えられます。東京一極集中が進み、社会環境は大きく変わりましたが、コロナ禍、ウクライナ問題等、想定もしなかった激動の時代を迎え、今こそ基本を中心とした普遍的な教育の重要性に回帰すべき時が来たと実感致します。須磨浦学園にはこれまで実践してきた実績に誇りを持ち、この激動の時代はきっと後期になると思いますので次世代教育のリーダーシップを取って行って頂きたいと思います。益々のご発展を祈念いたします。



林 真理子
65回生 昭和43年卒業

創立120周年おめでとうございます。須磨浦小学校ではアットホームな雰囲気の中、級友のみならず他学年の生徒さんとも交流があり、濃密な時間を過ごしました。特に5、6年次には、磊落な井間先生の熱血指導の下、笑いの絶えない楽しいクラスで、のびのび学校生活を送りました。級友とは卒業後55年経った今でもクラス会を開催したり、メールのやり取りをしたりして、温かい交流が続いています。須磨浦小学校の、一人一人の生徒を大切にしている自由な校風に感謝を深くしております。須磨浦学園の益々のご発展をお祈りいたします。



益子 和久
59回生 昭和37年卒業

創立120周年、心よりお祝い申し上げます。私達は1962年(昭和37年)の創立60周年に卒業し、今年で60年経ちました。ちょうど真ん中の年に卒業したことになります。当時の先生方は、1年生は安田先生、2~3年生は服部先生、4年生は藤井先生、5~6年生は渡辺先生に教えていただきました。褒められ、叱られ、多くのことを教えていただき、私たちが育てていただきました。ここに改めて先生方に感謝申し上げます。6年間、同じクラスで過ごしたため家族同士の付き合いも多く、母親も一緒にクラス会を開いたこともあり。写真は2016年のクラス会、卒業41名の半数が集まり、楽しいひと時を過ごしました。



吉田 耕二
61回生 昭和39年卒業

須磨浦学園創立120周年、心よりお慶び申し上げます。私達61回生は、昭和33年に入学し、昭和39年、第一回東京オリンピックの年に卒業しました。学生時代に最後のクラス会をしてから約40年、人生節目の還暦の年に開催した「還暦記念クラス会」を皮切りに、コロナの影響で出来なくなるまで、9年連続で毎年クラス会を行い、より友好を深めて来ました。本来なら、今年は「古希記念クラス会」を開催する予定でした。今も、物故者、連絡不明者を除く30数名が、無邪気にひたすら楽しかった、須磨浦小学校時代そのままの気持ちで、みんなが仲良く交流しています。須磨浦学園が、創立150年、200年に向け「遠き前途に赫ける希望の洋に雄飛せん」須磨浦小学校の同級生は、一生の宝物です。



神木 規人
67回生 昭和45年卒業

今から60年前通学の為に、国鉄の古加川駅から須磨駅まで8年間通った。当時一番遠方からの通学で、家からだ一時間以上かかっていた。古加川駅には蒸気機関車があり、廃線となった高砂線と走り寄り機関車を見るのが楽しみだった。一年生の時には乗り越しも経験し、姫路駅で行商のおばさんに起こされて駅長室に連れていかれ家に電話をかけてもらい上り電車に乗せてもらった。それ以後は次の駅で降りて反対側の電車に帰ることを学んだ、電車の中では高校生のお兄さんやお姉さんと仲良くなり、自然と目上の人との接し方を学んだ。低学年の頃は毎日が冒険のような通学だったが、家のすぐ裏にあった小学校なら五分で行けることを覚えて須磨浦まで通ったことは、勉学と共に自分の成長に大きな意味があったと思う。そんな冒険をさせてくれた両親に今でも感謝している。



菅谷 啓子
67回生 昭和45年卒業

須磨浦学園創立120周年心よりお祝い申し上げます。私の時代の音楽の先生は土屋先生でした。先生は、授業前の早朝に音楽の教科書を使用して「読譜訓練」をしてくださいました。一度もミスをせずに歌えたら次の曲に進み、自分の学年の曲を全曲合格したら、上の学年の教科書に進むというレッスンでした。これは有志参加で、少しでも早く上の学年の曲を歌いたい!と友だちと休まず早朝レッスンに参加した楽しい思い出が残っております。現在私は、そのような楽しい思い出のいっぱい詰まった音楽教室にて、放課後「アフタースクール」でピアノを教えさせて頂く機会に恵まれました。音楽を通して子ども達の成長のお役に立てたら嬉しいと思っています。

誌上同窓会



杉 花帆 (旧姓 濱崎)
74回生 昭和52年卒業

創立120周年おめでとうございます。私たちは男女の数が同じで、女子やや強めの仲良し学年でした。転入生大歓迎で、転入生は一躍人気者となり、即学級委員長に選出されるというのがお決まりでした。私たちの頃の幼稚園は2年保育で、最大8年間学園生活を共にしました。同級生のお母さま方も親戚の伯母さんのような関係で、今でも叱咤激励していただいています。男女問わず唯一無二の幼馴染です。お世話になった先生方もアラナイにならているので、コロナが収束したら、いち早くクラス会を開催し、お招きしたいです。



森山 梨恵 (旧姓 龍田)
87回生 平成2年卒業

須磨浦学園創立120周年心よりお祝い申し上げます。今では3人の子供を持つ母となり、息子や娘が小学生となっております。須磨浦学園で過ごした6年間を振り返ると沢山の楽しかった思い出が蘇ります。余島サマーキャンプやアイススケート教室、運動会で白熱した全校リレーなど。全学年1クラス編成で、中でも私の学年は当時最も少ない16名だった為、クラスの皆んな仲良く、勉強は勿論の事、きめ細やかな生活指導も受けられました。受け持った下さった担任の先生はじめ専科の先生方には改めて感謝申し上げます。帰省した際には学園長になられた山本先生にご挨拶かたが子供達を連れて母校を訪れたいと思っております。



森岡 あき (旧姓 中西 啓)
95回生 平成10年卒業

創立120周年おめでとうございます。さかのぼりますと創立90周年当時私は小学校の低学年でした。みんなで赤白帽をかぶり「90」の文字を作って記念の航空写真を校庭で撮影したことを思い出します。創立110周年は教諭として、可愛い教え子たちと一緒に記念の航空写真を撮影しました。創立120周年にあたる本年は同窓会事務としてお手伝いさせて頂いています。学園の節目ごとにご縁をいただいていることに感謝申し上げます。須磨浦小学校の同窓生とは途切れることなく交友が続いており、特に親友4人組で定期的に会っています。そんな親友と呼べる幼馴染たちと出会えたことが幸せです。須磨浦小学校の卒業生でよかったと思います。須磨浦小学校は勉強が多くて普通より少し大変かもしれませんが、クラス替えがなくて窮屈もありません。通学が大変かもしれませんが、学校のもつ独特の空気は他では味わうことができない何か特別なものを感じます。こればかりは関わった人でないとわからないかもしれません。今も在校のこどもたちを見かけますと、のびのびと明るくやほい良い学校だなと思います。須磨浦学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。



廣澤 星花
105回生 平成20年卒業

創立120周年おめでとうございます。在学時に100周年をお祝いする歌を、みんなで歌ったことは記憶に新しく、今でも歌うことができます。それから時がたち、それぞれが新しい道に歩み出した今でも、同級生とは定期的に連絡を取りあっています。仲間との出会いと同様に、当時の図工や音楽の授業での経験は、私にとってとても大切な宝物です。「失敗してもいいから、やってみよう!」と、色んな画材を使って表現したことや、たくさんの楽器に触れたことで、自己表現のヒントをたくさんもらいました。これからも当時の気持ちを核として忘れずに、自分の道を歩んでいきます!須磨浦学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。



藤田 葵
91回生 平成6年卒業

創立120周年を心よりお祝い申し上げます。2019年に総会でお話をさせていただいたことをきっかけに、母が同窓会事務局でお世話になることになり、学園の懐の深さを感じております。昨年結婚し、農業関係の会社で経営企画の仕事をしなが大学院で今流行りの「リカレント教育」真っ最中です。年齢にして40歳を迎え、人生の折り返し地点にあって、後半生をいかに生きるか考える時期にあります。世の中が移り変わる中であっても「変わらないもの」は大切に、須磨浦学園には私たちの根底を支える、創立以来変わらない精神が息づいていると年齢を重ねるごとに思います。今後も学園の益々のご発展をお祈り申し上げます。



河合 賢二
91回生 平成6年卒業

須磨浦学園創立120周年、誠におめでとうございます。緊張しながらおはじきの色分けをした入学テスト、余島サマーキャンプではヨットで見事に転覆。沢山の思い出がいつまでも鮮明に心に残っています。山本義和先生をはじめ諸先生方に暖かくご指導いただき、クラスメイトと切磋琢磨しながらのびのびと過ごした6年間は宝物です。今では子供の頃からの夢だった仕事に就き、大切な家族ができました。充実した生活の中で子供の教育の大切さを痛感し、須磨浦小学校に通わせてくれた両親に感謝しています。末筆ではございますが、須磨浦学園の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



浅野 倫吾
112回生 平成27年卒業

創立120周年、誠におめでとうございます。須磨浦学園で過ごした6年間、1学年1クラスという環境で、のびのびと、自由に生きることの大切さを教えていただきました。中学、高校、大学と進学していくにつれ、校則が減り、自由を楽しみながら成長することができました。公衆衛生学に興味を持っており、高校生の時には、アメリカでの国際薬剤疫学学会で発表をさせていただきました。須磨浦学園で出会った同級生や先輩、後輩とは、今でも小学校の話で盛り上がる事が多くあります。素晴らしい出会いと思いに、大変感謝しております。須磨浦学園のこれからのますますのご発展をお祈り申し上げます。



佐山 晏渚
114回生 平成29年卒業

創立120周年おめでとうございます。須磨浦小学校と姉妹校であるリッチモンド小学校に4年生で行かせていただきました。当時出来た友達とは、8年経った今でも交流は続き、連絡を取り合っています。コロナ禍以前には私がアメリカを訪ね一緒に食事をして、アメリカ式テーブルマナーを覚えてもらいました。とても有意義な時間を過ごしました。そして、先日京都でも再び会うことが出来ました。私が京都の学校に通っていることもあり、歴史溢れる素敵な京都の街を案内することが出来てとても嬉しいです。須磨浦小学校が持つ国際交流プログラムを通じて良い出会いを与えられたことに感謝しています。

須磨浦最新事情

アフタースクールが始まりました

●レプトン英語教室

レプトン英語教室は毎週月・火・木曜日に行われている英語のアフタースクールです。児童は外部の英語の先生の手厚いサポートのもと、個々のレベルに応じて英語を学習することができます。分からない問題があればすぐに近くの先生に質問、解決をすることができます。アルファベットの書き方から中学レベルの英文や文法項目を学習することができるということで、非常に人気の高いアフタースクールとなっております。



●茶道教室

茶道教室では、1～3年生までの児童が、季節の美しいお菓子や自分で点てた抹茶を味わいながら、お辞儀の仕方や歩き方などの作法をお稽古しています。また、「翠瀟庵」では、お床の掛け軸の意味や季節の花、お道具についても学んでいます。毎週1回、背筋を伸ばして静かにお茶を楽しむ時間を大切にしています。



●スナッグゴルフ教室

スナッグゴルフはゴルフと初めて出会う子どもたちに、基本的な技術やルールを分かりやすく楽しく正しく学べるよう考案されたスポーツです。Starting New At Golf(ゴルフを始めるために)という言葉の頭文字が名称の由来です。マジックテープで表面を覆われたテニスボールより少し小さいボールを硬質プラスチックでできたクラブで打ちます。大血賀紹ティーチングプロの指導の下、楽しみながら基礎を身につけようと、がんばっています。



●サッカー教室

毎週金曜日の放課後に1～4年生の希望者を対象にサッカースクールを開講しています。休み時間とは違い、コーチに褒めてもらいながらサッカーができるので、非常に楽しそうな様子で取り組んでいます。学年対抗で試合を行うことも多く、どの子どももきらきらした笑顔で元気にボールを追いかけています。

●ピアノ教室

令和4年度4月から希望者を対象に新しく開講された教室です。基礎からドレミを楽しくマスターして、クラシックからJポップまで、好きな曲を大人になっても楽しめるような総合的で豊かな音楽力を身につけるようにと、須磨浦小学校の卒業生の先生が担当されています。レッスンは毎週火・水・金曜日です。

●体操教室

運動場や体育館で、コスモスポーツクラブのコーチが様々な運動を楽しく教えてくれます。技の上達はもちろんのこと、運動をするにあたっての心構えや、スポーツマンシップの精神など、人間性の面でも指導をしてくれています。



幼稚園型認定こども園になりました

体育あそびについて

須磨浦学園が大切にしている「体・徳・知」の「体」の部分。須磨浦幼稚園では、令和3年度よりコスモスポーツクラブの体操の先生が週1回「体育あそび」を30～50分(クラスごとに時間が違う)実施しています。子どもの運動神経は6歳までに8割が決まると言われます。早く始めることで成長は著しいものがあります。日に日に体幹が鍛えられ、自分自身で体の動かし方が分かってきます。マラソン、柔軟体操、ブリッジ、逆立ち、鉄棒、跳び箱、マット運動等。色々な種目に挑戦して「成功」「失敗」を体験します。全員が「できた」と感じられることを目標に頑張っています。単に運動能力が向上するだけでなく、姿勢保持や集中時間の長さも変わってきました。仲間意識も芽生え、落ち着いたくらしへと繋がっています。

今年5月の120周年記念学園運動会では、年中・年長組のバルーン・台風の目、年少・体験組の玉入れ、そして全園児リレー・ダンスを毎日練習しました。これも体操の先生が中心で指導しました。さらなる子どもたちの可能性が伸ばせたものと思います。また、日々の取組の成果の発表の場として、10月には「体育あそび発表会」を実施する予定です。鉄棒なら全員逆上がり成功。縄跳びなら全員50回連続とび成功。マットなら全員ブリッジ成功等。クラスごとの目標は違えども、楽しんで意欲的に継続して体を動かしていきたいと思えます。



English Kinder Garden(毎朝の英語シャワー)、英語であそぼう(正課)について

グローバルな国際社会で生きていくためには英語は必要不可欠です。とはいうものの日本人はなかなかうまくしゃべれないと言われます。英文法も大切ですが、小さいうちにしっかり「英語を聴く」こと。「聴く」ことで「英語脳」が育つと考えます。須磨浦幼稚園では、令和2年度よりヨークアカデミーのALTの先生による、毎日朝の15～20分間、英語のシャワータイム「English Kinder Garden」を行っています。イタリア、アメリカ、インド人の3名のネイティブの先生です。また、毎月曜日に20～30分、正課の「英語であそぼう」も実施しています。年中・年長はテキストを使い、書くことはせず、会話をしています。さらに、放課後習い事教室で3クラス30分ずつ英会話もしています。繰り返すことで自然と英語が聴けて話せるようになってきたと感じます。そして、楽しく英語に親んでいます。



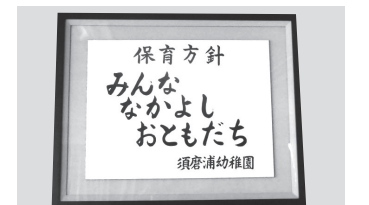
ピロティ文庫について

須磨浦学園の「体・徳・知」の「知」の部分で欠かせないのが「絵本を読む」ことだと考えます。毎月購入した絵本を「ぼくの本、わたしの本」として、1ヶ月毎日読み、先生による「読み聞かせ」もあります。自分の本を大切に、一つひとつのお話を大切にすることは絵本が子どもたちの宝物になるものと思います。そして家でもお家の人に「読んで!」と言ってくれるものと考えます。絵本を読む場所も用意しました。自由に本に触れ合える。神戸市中央区東遊園地にオープンした「こども本の森神戸」は建築家 安藤忠雄氏が子どもたちの未来のために作られたものです。それを参考に園のメインストリートに「ピロティ文庫」と名付けて、絵本を100冊置きました。ただの絵本ではありません。一度は手にしたことがある絵本の名作150冊です。大学の先生に選んでいただきました。次代を担う子どもたちに豊かな感性と判断力を付けてくれるのは、いつまでも変わることのない名作です。なかには科学の本もあります。日々「ピロティ文庫」に集って、「すきま時間」に笑顔で真剣に絵本を読む子どもたちの姿が増えてきました。



預かり保育・延長保育(幼稚園型認定こども園として)について

令和4年4月1日より「幼稚園型認定こども園」となりました。須磨浦幼稚園は創立105年の歴史ある幼稚園です。その伝統と歴史を守り受け継ぐことが何よりも大切です。そして未来の50年後の姿を思い描くことも必要です。日本社会の縮小化、人口減、少子化、働く女性が社会進出するのは当たり前の時代。「幼稚園型認定こども園」は、本園が長年培ってきた教育・保育内容や方針等は従来のものを継承しつつ、多様なニーズに対応するために保育機能を拡充しながら、本園の教育・保育の質的向上を図るものです。したがって今までの幼稚園に加味して、預かり保育・延長保育の充実(7:30～18:30、長期休業中も)や給食・おやつの日提供をしています。



須磨浦最新事情

Wi-Fiの設置

3～6年生iPadの使用・オンライン授業が導入されました

令和2年度(2020年)8月より3年生以上の児童全員に1人1台の教育端末としてiPadを導入しました。授業支援ソフトであるロイロノートを導入し、プレゼンテーション活動や話し合い活動、観察や記録など幅広い場面で活用しています。元より、1年生からコンピュータ室でタイピング練習やインターネット検索をしていたこと、子どもたちがデジタルネイティブ世代ということがあり、児童はすぐに使いこなすようになりました。



和楽器体験(6年生)

平成27年度より、神戸三曲協会講師の加納煌山先生をお招きし、6年生を対象に、和楽器の体験・ワークショップを行っています。箏や尺八の演奏を聴いたり、実際に奏でてみたりして、自国の音楽に触れあって身近に感じることを目的としています。



学習園の設立

わくわくランドの片隅を活用していた小さな学習園は、平成30年4月から、運動場東側隣地の土地を購入し総面積168m²の広々とした学習園になりました。幼稚園と1年生から6年生まで全学年の花壇を設け、1・2年生は生活科でピーマン、ミニトマト、サツマイモなどを育てたり、3年生以上は理科の植物の発芽・生長や昆虫の観察などに活用したりしています。自分たちで育てる喜びを実感しながら「命」の大切さも学んでいます。



運動会、音楽会、作品展の時期が入れ替わりました

令和4年度から、学園三大行事時期が入れ替わりました。以前は音楽会が6月末、運動会が9月末、作品展が11月末～12月初旬に実施しておりましたが、気候の関係などもあり、運動会が季節の良い5月末に、音楽会が芸術の秋ということで10月末～11月初旬に変更となりました。また、1年間の締めくくりの作品を見ていただくために、作品展が2月初旬の開催となりました。

全教室のエアコン・蛍光灯(LED)の入れ替えを行いました

①「全普通教室、保健室、コンピュータ教室空調設備更新工事について」

空調設備の老朽化に伴い、日常的な学習環境の悪化が見られたため、全普通教室の空調設備の更新をおこなっていました。

工期 平成29年12月に着工し、平成30年1月完成

②「全普通教室照明設備改修(LED化)工事について(二期工事も含む)」

経済産業省「エネルギー基本計画」等に基づき、平成31年3月末に蛍光灯照明器具の生産を終了し、蛍光灯ランプについても近い将来、全面的な生産中止が見込まれるため、全普通教室の照明器具改修(LED化)を実施しました。また、令和元年に未実施の教室(コンピュータ教室、音楽室、図工室、理科室等を二期工事として実施しました。

工期 平成29年4月に着工し、平成29年5月完成
※二期については、令和元年8月に着工し、同月完成

図書室のリニューアル

創立120周年記念事業としてリニューアルしました。カーペットをグリーンに換え、落ち着いた色彩にまとめました。しゃがんだまま読める絵本コーナーを設けました。図鑑類や自然科学系、哲学、心理学、歴史関係だけでなく、話題の読み物も揃え、子どもたちの読書意欲を掻き立てる蔵書に一新しました。



コラボ授業

平成25年度より、受験教科指導において多くの経験とノウハウを有する有名進学塾の一流講師に協力していただいています。中学入試において、本校児童の志望校合格をより確固たるものにするべく、「国語・算数・理科」の主要3教科において本校教員と塾講師が協力し、ハイレベルな受験指導を、チームティーチングで6年生の6月からの半年間実施しています。

先生紹介

山本 義和 学園長

祝創立120周年。歴史と伝統の重みを痛感いたします。児童・教員・保護者・幼稚園長・校長・学園長として、52年間学園と共に歩ませていただきました。須磨浦学園を愛する素晴らしい先輩や後輩、保護者の方々に出会えたことに喜びと誇りを感じています。須磨浦学園の益々の発展を祈念いたします。

岩淵 正文 校長

創立120周年おめでとうございます。教育の方法は時代とともに変わるものと変わらないものがあります。しかし、一人一人の児童を大切に育て、世界に通用する人材の育成を目指した本校の建学の精神は変わらざるものです。その建学の精神を受け継ぎ、今後も学園が更に発展できるよう努力と研鑽を積んでいきたいと思ひます。

佐山 公章 教頭

創立120周年おめでとうございませう。80周年は在校生、90周年と100周年は同窓生、110周年は保護者と教員、そして120周年は教頭と、それぞれの立場で5回の節目を一緒に祝いできることに感謝です。これからも、この長い歴史と伝統を受け継いで「赫ける希望の洋へ雄飛せん」とする鳳雛たちに、微力ながら尽くしてまいります。

金治 三佳 主幹教諭

創立120周年おめでとうございませう。時々卒業生が学校を訪れ、近況を報告してくれる時、時の流れを感じ、卒業生の成長をうれしく感じます。これまでも、これからも、たくさんの卒業生の心の故郷になっているこの須磨浦学園が今後も発展していくことを祈念します。

玉井 英夫 園長、学園長補佐

創立120周年にあたり、心より祝い申し上げます。長い歴史と品格ある伝統を今後とも継承しつつ時代・社会の流れを常に注視し次の50年、次の100年を見据えた園運営でなければと考えます。今後も輝かしい歴史を刻み続けたいと思ひます。

加藤 紀久 副園長

創立120周年おめでとうございませう。「梅檀は双葉より芳し」幼稚園から9年間の中で育まれた須磨浦精神を大切にしたいと思ひます。そうすれば未曾有の困難にも打ち勝つことができるはず。私も少しでもそのお手伝いができますよう頑張りたく考えます。

荒川 麻衣 主幹教諭

須磨浦学園創立120周年おめでとうございませう。120周年という記念すべき年を迎えることができ、大変嬉しく思ひます。子どもたちの明るい笑顔が溢れる温かい学園が、ますます発展しますよう、お祈り申し上げます。

吉田 多賀子 教諭

創立120周年おめでとうございませう。歴史ある須磨浦学園の重みを感じながら、日々子どもたちの笑顔に囲まれ過ごせること、そして立派に大きくなった子どもたちに会えることに幸せを感じております。須磨浦学園の益々の発展をお祈り申し上げます。

島田 健一 教諭

創立120周年おめでとうございませう。日々の教育活動を反省し明日につなげる努力を続け、一人一人の未来を担う子ども達を大切に育てていきたいと思ひます。これからも須磨浦学園が存続されますよう願っております。

福成 由紀子 養護教諭

伝統ある須磨浦学園の創立120周年おめでとうございませう。「学校の新しい生活様式」に基づいた新しい日常を懸命に過ごしている子どもたちに寄り添い、一日一日を大切に過ごすと共に、未来を担う子どもたちの成長を支えられるよう、研鑽を積んでいきたいと思ひます。

井上 晶子 教諭

創立120周年おめでとうございませう。長い歴史の中で、たくさん思い出を刻んできた学園。微力ながら、携わることができて嬉しく思ひます。これからも、一人一人の子どもたちを大切に、温かく見守っていきたく願ひます。

西尾 美幸 教諭

創立120周年おめでとうございませう。歴史ある学園で120周年という日を迎えることができ、大変嬉しく思ひます。これからも子どもたちの明るい笑顔が溢れる温かい学園がますます発展されますようお祈り申し上げます。

阿部 香奈 教諭

創立120周年おめでとうございませう。この記念すべき日を、須磨浦学園の職員として共にお祝いできることを嬉しく思ひます。未来を担う子どもたちに何かを残していけるよう邁進していきたいと思ひます。

首藤 由紀 教諭

須磨浦学園創立120周年おめでとうございませう。歴史と伝統の重みを感じるとともに、記念すべき年を職員として迎えることができ、心より嬉しく思ひます。これからも子どもたちとともに成長できるよう、日々過ごしていきたいと思ひます。

原 奈保子 教諭

創立120周年おめでとうございませう。120周年という記念すべき年を、職員として迎えさせて頂くことを、とても嬉しく思ひます。これからも子どもたちとともに学び、成長できるよう、一日一日を大切に過ごしていきたいと思ひます。

板倉 真美 教諭

創立120周年おめでとうございませう。この伝統ある須磨浦学園で学んだ子どもたちが、まさに希望の洋に雄飛していく姿が目に見え、心より嬉しく思ひます。職員の一員として、子どもたちの心に寄り添いながら、日々尽力して参ります。ますますの発展をお祈り申し上げます。

有岡 麻里 教諭

創立120周年おめでとうございませう。記念すべきこの節目に勤務させていただいていることを嬉しく思ひます。これからも、子ども達一人一人を大切に育てていけるよう日々頑張りたく思ひます。益々のご発展をご祈念いたします。

田村 翔平 教諭

創立120周年、おめでとうございませう。120周年という記念すべき年を迎えることができ、大変うれしく思ひます。これからも、学園のさらなる発展と学園が何年も続くことを祈念いたします。子ども達の明るい笑顔と感動が溢れる学園になれるよう、日々頑張りたく思ひます。

深井 康平 教諭

創立120周年という歴史を背負い、これからの時代に合わせて変化、進化し、更に発展していき、これからも子どもたちが誇れる学校としてあり続けるよう願ひます。私自身も子どもたちと共に笑い、共に学び成長していきたいと思ひます。これからの10年が良い10年でありますように。

中村 真子 教諭

創立120周年、おめでとうございませう。記念すべき120周年を教職員としてお祝いできること、120周年を迎えることができたことを大変嬉しく思ひます。子ども達と過ごす日々がかけがえのない瞬間となっています。学園の長い歴史がこの先も引き継がれ、さらに発展していくことを心から願ひます。

西村 政洋 事務長

創立120周年にあたり、心より祝い申し上げます。歴史の重みを感じますとともに、今後とも時代の流れにそった教育活動に取り組み、地元神戸での知名度・存在感を高め、ご発展されることを期待いたしております。

岸田 真澄 事務職員

創立120周年おめでとうございませう。栄えある今日という大切な節目をお祝いできたこと、とてもうれしく思ひます。この120周年を新たな飛躍の出発点とし、今後も末永く発展してきますよう、微力ながら貢献できればと思ひます。

淵田 満代 事務職員

創立120周年おめでとうございませう。この記念すべき日をまた共に迎えることが出来て嬉しく思ひます。この周年史が発行される折にはコロナ禍で実施することが難しかった行事が再開され全ての児童が須磨浦精神にある「経験に勝る学問はない」体験が出来ること、それがこれからも続いていくことを願ひます。

岸本 絵美梨 事務職員

須磨浦学園創立120周年、おめでとうございませう。歴史と伝統の重みを感じるとともに、記念すべき年を職員として迎えることができ、心より嬉しく思ひます。ますますの発展をお祈り申し上げます。

井木 優香子 教諭

須磨浦学園、創立120周年おめでとうございませう。この記念すべき年に勤めることができ嬉しく思ひます。輝かしい歴史と伝統を守り続けられるよう、微力ながらも精進していきたいと思ひます。

植村 真喜 教諭

創立120周年おめでとうございませう。120周年という記念すべき年を迎えることができ、大変うれしく思ひます。いつも笑顔いっぱい登校してくる子どもたちを見て、今後もたくさんの笑顔が溢れる温かい学園であると共に、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

小西 一徳 教諭

創立120周年という記念すべき年に伝統ある須磨浦小学校に勤務させていただいたことを心より感謝申し上げます。須磨浦ファミリーの一員として、子どもたちとより良い学校を作っていくたいと思ひます。須磨浦学園の歴史を大切にするとともに、本校の更なる発展をお祈りいたします。

藤原 和幸 特任講師

須磨浦学園創立120周年。心より祝意を表します。一生懸命がんばる子どもたちの姿勢をとても嬉しく頼もしく思っております。将来、自分の夢を叶えるだけでなく、[Noblesse Oblige]の実現、世のため人のために働ける人になってほしいと願ひます。学園の発展と子どもたちの成長をお祈りいたします。

貴志 康弘 学園職員

須磨浦学園に集う子供たちに、豊かな心と高い教養、そして丈夫な身体を。その想いで歩んだ120年だと思ひます。須磨浦で出会った友だち、一緒に喜び合った日々、ほろ苦い思い出、そして友情。学園の並々の繁栄と発展を祈念いたします。



松下 眞紀子 常勤講師

創立120周年おめでとうございませう。この記念すべき年に、伝統ある須磨浦小学校で教壇に立てることを大変光栄に感じています。この小学校を巣立った子供たちが日本や世界の未来を支える人になる姿を想像しながら、豊かな心を持つ子供に育つよう、日々尽力してまいります。

尾崎 加代子 非常勤講師(元副校長)

こ須磨浦学園で教育に熱い先生方や保護者の方々との出会い、子どもの成長と共に喜び、時には涙し、様々な一日を積み重ねつつ、今日を迎えた「おめでとうございませう。須磨浦学園創立120周年ありがとうございませう。」感謝の気持ちでいっぱい。須磨浦学園の更なる発展をお祈り申し上げます。

内藤 みどり 常勤講師

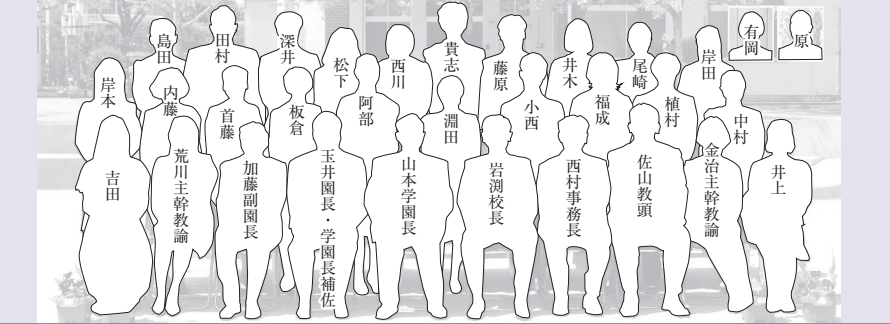
創立120周年おめでとうございませう。この、おめでとうの年に子どもたちと学べることを光栄に思い、精一杯励んでまいります。先日、卒業生の方から「小学校が好きすぎて」というお話を伺いました。須磨浦小学校の益々の発展をお祈りいたします。

西川 美帆 常勤講師

創立120周年おめでとうございませう。記念すべき年に勤務させてもらっていることを嬉しく思うとともに、指導することの難しさと責任を感じています。子どもとの信頼関係を大切に、日々過ごしていきたいと思ひます。元気いっぱい、笑顔溢れる学園がますます発展しますよう、お祈り申し上げます。

深田 智子 原田 太 Dino Tamburini Stephen Bascomb Yorder Harris S Andre Uma Ghogar 講師

創立120周年おめでとうございませう。



須磨浦学園 110年の成長史

1902年～1919年

授業開始のベルが鳴ったのは、
20世紀初めのことでした



1902年 (明治35年)

3月23日 廣瀬宰平氏主唱により、河上謹一、芝川又右衛門、
鳴瀧幸恭、田中太七郎の4氏、学園設立の準備を始める。

設立者



廣瀬 宰平



河上 謹一



芝川又右衛門



鳴瀧 幸恭



田中 太七郎



川崎 芳太郎



廣瀬 満正

- 6月15日 初代校長 寺本伊勢松就任
- 10月 5日 須磨浦尋常小学校開校式挙行。全児童 16名
- 11月 3日 校章、校旗、帽章を制定
- 2月13日 第2代校長 小寺勝敏就任
- 10月 第1回記念運動会開催
- 3月 工費 1,360 円で、校舎 44 坪増築
- 6月 運動場 63 坪拡張

創立当時の校章



校章は、朝日に匂う山桜をシンボライズしたものです。つややかに輝く若葉の間に咲き誇る桜花は、天真爛漫な児童の天性を伸ばし、日本人の誇りを培い育てるという意味です。

須磨浦学園理事長・
校長の移り変わり

初代理事長



田中太七郎

初代校長



寺本伊勢松

理事長…田中太七郎 明治35年9月～大正8年4月

校長…寺本伊勢松 明治35年9月～明治36年1月

第2代校長



小寺 勝敏

明治
36年
2月
大正
9年
4月

1903年 (明治36年)

1904年 (明治37年)

1905年 (明治38年)

1906年 (明治39年)

1907年 (明治40年)

1908年 (明治41年)

1909年 (明治42年)

- 4月 尋常小学校の修業年限が改正され、4か年が6か年に延長される
- 2月 旧校舎一部改造および、新教室7坪を、工費 590 円で増築



第1回運動会



旧校舎

1910年 (明治43年)

1911年 (明治44年)

1912年 (明治45年・大正元年)

1月 4日 須磨浦尋常小学校同窓会を結成し、
男子同窓会の発会式を行う

7月30日 明治天皇崩御

7月31日 年号「大正」となる

6月25日 財団法人に組織を変更し、河上謹一、
田中太七郎、鳴瀧幸恭、山口八左右、
永井儀三郎、阿部房次郎の6氏、
理事に就任する

9月 組織の変更、児童の増加により、設備の充実を期すべく、
南校舎、その他 98 坪の増築および、旧校舎の模様替え、
ならびに運動場 392 坪の拡張をする

3月18日 創立 15 周年記念式兼増築落成式を挙行。式後、体操遊戯会
を催す

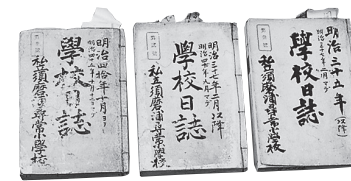
4月 1日 創立以来、一部複式学級編成をとってきたが、これを廃止し、
単式編成とする

4月29日 理事会において、幼稚園を付設することを議決し、申請の手
続をなし、ただちに校地 228 坪を求める

1月10日 須磨浦尋常小学校付属幼稚園開園
初代園長は小寺勝敏校長兼任、専任保母 2 名
初代学園長就任



運動会



須磨浦学園理事長・
学園長の移り変わり

初代理事長



田中太七郎

明治
35年
9月
大正
8年
4月

第2代理事長



山口八左右

初代学園長



小寺 勝敏

大正
8年
4月
大正
9年
3月

大正
7年
1月
大正
9年
5月

須磨浦学園 110年の成長史

1920年～1939年

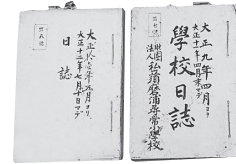
小さな弟や妹が学園に仲間入り
幼稚園が開設されました



1920年
(大正9年)

3月 財政の基礎を確立するため、維持資金を募集し、
166,500円の寄付を得る

5月11日 第2代学園長 第3代校長
第2代幼稚園長 鈴木光愛就任



校訓を次のように制定した

1. 身体を丈夫にせよ。2. 克く学び克く勤めよ
3. 辛抱強くあれ。4. 正直にして親切なれ
5. 言語動作を上品にせよ。6. 自分のことは自分でせよ

3月 幼稚園運動場 144坪ならびに農業実習園 160坪を拡張する

4月 1日 国語読本「自学の友」を刊行する

7月 北校舎の一部を改築して、屋内体操場兼講堂 28坪を新築する
工費 2,990円

10月 4日 校歌制定、作詞三島多三郎訓導、作曲森下ます訓導

11月 1日 毎月1回、「学園だより」を発刊することになる



ある日の保育風景



運動会

1921年
(大正10年)

1922年
(大正11年)

1923年
(大正12年)

1924年
(大正13年)

1925年
(大正14年)

1926年
(大正15年・昭和元年)

1927年
(昭和2年)

1928年
(昭和3年)

1929年
(昭和4年)

須磨浦学園理事長・
学園長の移り変わり

第3代理事長 第2代学園長



瀧川儀作



鈴木光愛

大正9年5月～大正15年3月

大正9年5月～昭和5年4月

第4代理事長



山口八左右

大正15年4月～昭和20年2月



1930年
(昭和5年)

1931年
(昭和6年)

1932年
(昭和7年)

1933年
(昭和8年)

1934年
(昭和9年)

1935年
(昭和10年)

1936年
(昭和11年)

1937年
(昭和12年)

1938年
(昭和13年)

1939年
(昭和14年)

4月 9日 鈴木光愛校長逝去

5月12日 第3代学園長 第4代校長
第3代幼稚園長 治部藤与門就任

10月 9日 創立30周年記念式挙行

4月 5日 治部藤与門校長退任

10月 5日 第4代学園長 第5代校長
第4代幼稚園長 志保田銚吉就任

2月11日 須磨浦学園母の会発会式を挙げる

7月 3日 女児用徽章制定

7月 課外に、4学年以上の男子を対象に剣道を実施する

12月23日 校旗を改定する。3尺3寸×2尺6寸のり色塩瀬地中央
に校章の桜花を、右側に山口理事長手蹟の校名を、金銀色
の刺しゅうにしたもの

7月11日 年中行事のひとつとして、水泳
練習を約20日間開催する



運動会



水泳訓練①



水泳訓練②

須磨浦学園理事長・
学園長の移り変わり

第3代学園長



治部藤与門

昭和5年
昭和6年
昭和8年
昭和4月

第4代学園長



志保田銚吉

昭和8年
昭和10年
昭和14年
昭和5月

第5代学園長



田中友二郎

昭和14年
昭和19年
昭和11月

須磨浦学園 110年の成長史

1940年～1959年

校舎の復旧が進むにつれて、
誰もが希望をふくらませました



1940年
(昭和15年)

- 10月 校訓を改定する
1. 身体を丈夫にし、何事も元気よくせよ
 2. よく学び、よく働け。3. 正直で、人には親切にせよ
 4. 礼儀規律を守り、公德を重んぜよ
 5. 常に皇恩を感謝し、忠孝を励み、国家有用の人となれ

1941年
(昭和16年)

- 4月 1日 小学校令を改正し、国民学校令となったため、財団法人須磨浦学園と改め、須磨浦国民学園、須磨浦幼稚園となる
第5・6学年女兒に、なぎなた道を実施する
- 7月 1日 母の会・同窓会の後援を得て、校庭に御真影奉安殿の建設をする

1942年
(昭和17年)

11月22日 創立40周年記念式挙行

1943年
(昭和18年)

- 11月13日 田中友三郎校長退任
- 11月13日 第6代学園長 第7代校長
第6代幼稚園長 近藤政好就任

1944年
(昭和19年)

- 3月17日 学園の一部が戦災にあう
- 6月 1日 学童疎開をする。(兵庫区鈴蘭台、同和火災海上保険会社所有の耕心寮に、3年生以上の有志)
- 6月 5日 校舎の一部、須磨方面罹災者の収容所となる
- 6月10日 県立第4中学校に、校舎の一部を貸す
- 8月 広島・長崎に原子爆弾投下。ポツダム宣言受諾

1946年
(昭和21年)

5月 3日 日本国憲法施行

1947年
(昭和22年)

7月12日 罹災園舎修復

1948年
(昭和23年)

3月15日 校地291坪あまりを買収する

1949年
(昭和24年)

12月21日 子供銀行を開設する

須磨浦学園理事長・
学園長の移り変わり

第5代理事長 第6代学園長



岡崎忠雄

近藤政好

昭和
520
昭和2
23月
年4
月

昭和
19
昭和11
26月
年3
月

第6代理事長



瀧川清一

昭和
23
昭和4
25月
年3
月

1950年
(昭和25年)

7月15日 給食調理場を建設する



給食室

1951年
(昭和26年)

- 3月12日 学校法人須磨浦学園が認可になり、学校法人須磨浦学園須磨浦小学校・須磨浦幼稚園となる
- 3月31日 近藤政好校長退任
- 4月 1日 第7代学園長 第8代校長
第7代幼稚園長 森田英一就任

須磨浦学園理事長・
学園長の移り変わり

第7代理事長 第7代学園長



岡崎真一

森田英一

昭和
25
年4
月
昭和
46
年1
月

昭和
26
年4
月
昭和
36
年3
月

1952年
(昭和27年)

- 8月30日 小学校校舎の補強をする
- 10月19日 創立50周年記念式挙行
校訓を改定する

1. 人と仲よく、人に親切にする
2. 人に迷惑をかけぬようにする
3. 言語、動作は上品であるべきこと
4. 個性の尊重と伸展、並びに実力を養う

1953年
(昭和28年)

- 8月31日 小学校校舎補強と増築
- 10月30日 幼稚園舎増築



校舎落成式①

1954年
(昭和29年)

1955年
(昭和30年)

1956年
(昭和31年)

12月15日 学園全校舎改築を終わる



校舎落成式②

1957年
(昭和32年)

1958年
(昭和33年)



水泳

1959年
(昭和34年)

須磨浦学園 110年の成長史

1960年～1989年

サマースクール、他校との交流
学校行事が盛んになったのは、この頃からです



1960年
(昭和35年)

1961年
(昭和36年)

1962年
(昭和37年)

1963年
(昭和38年)

1964年
(昭和39年)

1965年
(昭和40年)

1966年
(昭和41年)

1967年
(昭和42年)

1968年
(昭和43年)

1969年
(昭和44年)

1970年
(昭和45年)

1971年
(昭和46年)

1972年
(昭和47年)

1973年
(昭和48年)

1974年
(昭和49年)

- 3月31日 森田英一校長退任
- 4月1日 第8代学園長 第9代校長 第8代幼稚園長 牧岡弥市郎就任

11月3日 創立60周年記念式挙行



- 9月25日 第9代学園長 第10代校長 第9代幼稚園長 渡邊潔就任

- 4月1日 第10代幼稚園長 井上周子就任(専任) 同、幼稚園定員を100名に変更する

- 3月17日 須磨浦学園体育館落成。
1階 体育館 469.40㎡
地階 図工室 139.40㎡
地階 倉庫 59.50㎡

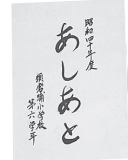
- 7月25日 高野山宝城院で林間学校を開校する
～27日 (5年6年参加・2泊3日)

- 7月 須磨浦海岸での海水浴をやめ、須磨寺プールで学校水泳を開始する

- 3月31日 渡邊潔校長退任
- 4月1日 第10代学園長 第11代校長 白井正和就任
- 7月 神鍋、神鍋ハイランドホテルでも林間学校を開く。(以後、隔年開校)
- 10月5日 創立70周年記念式挙行
- 5月 幼稚園、体育特設時間を設定する
- 9月6日 職員室、事務室、音楽室等の増改築工事成。 (204.96㎡)



修学旅行



卒業式



林間学校①



林間学校②



創立70周年記念式

須磨浦学園理事長・
学園長の移り変わり

第8代学園長



牧岡弥市郎

昭和
36
年
4
月
8
日

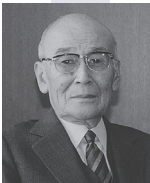
第9代学園長



渡邊潔

昭和
40
年
9
月
3
日

第8代理事長



瀧川勝二

昭和
46
年
8
月
5
日

第10代学園長



白井正和

昭和
47
年
4
月
1
日

1975年
(昭和50年)

1976年
(昭和51年)

1977年
(昭和52年)

1978年
(昭和53年)

1979年
(昭和54年)

1980年
(昭和55年)

1981年
(昭和56年)

1982年
(昭和57年)

1983年
(昭和58年)

1984年
(昭和59年)

1985年
(昭和60年)

1986年
(昭和61年)

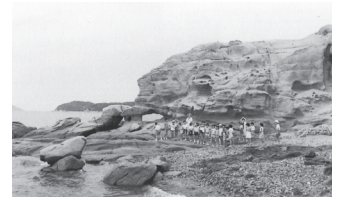
1987年
(昭和62年)

1988年
(昭和63年)

1989年
(昭和64年・平成元年)

- 1月11日 白井正和校長逝去

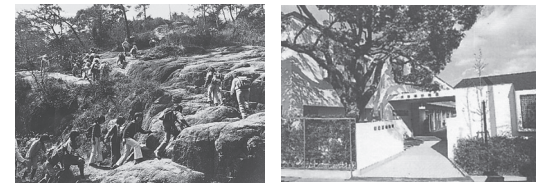
- 4月1日 第11代学園長 第12代校長 潮田義美就任



余島サマースクール

- 7月21日～23日 余島サマースクール開始。(高野山、神鍋の林間学校を止め、以後サマースクールを実施・2泊3日)

- 9月23日 校長室、事務室の増改築工事成。(12.78㎡増)



新学園舎

- 4月1日 第11代幼稚園長 船曳琢之就任(専任)

- 12月15日 新学園舎竣工 創立80周年記念式典挙行。新学園舎竣工祝賀式挙行(幼稚園棟)

- 4月18日 5年・6年を対象とした放課後の補習を始める

- 3月31日 潮田義美学園長・小学校長退任
- 4月1日 第12代学園長 第13代校長 船曳琢之就任 入学式
- 4月1日 第12代幼稚園長 島田政夫就任(専任)



入学式



修学旅行

須磨浦学園理事長・
学園長の移り変わり

第11代学園長



潮田義美

昭和
50
年
4
月
3
日

第12代学園長



船曳琢之

昭和
61
年
4
月
3
日

第9代理事長



南史郎

第13代学園長



島田政夫

平成
元年
4
月
7
日

昭和
62
年
5
月
平成
2
年
11
月

須磨浦学園 110年の成長史

1990年～2002年

海外との交流も深まり、
お昼休みに英語の歌が流れはじめました



1990年
(平成2年)

- 8月31日 校門改築工事完成。通り初め式挙行
- 11月9日 南史郎理事長退任。第10代理事長 鈴木治雄就任

1991年
(平成3年)

- 7月31日 島田政夫学園長退任。井間稔之小学校長が第14代学園長に就任
第13代幼稚園長 井間稔之就任

1992年
(平成4年)

- 9月 増築新校舎2階建完成。(多目的教室・図書館)
- 10月3日 須磨浦学園創立90周年記念式典挙行

1993年
(平成5年)

- 5月13日 英語放送開始。昼休み(給食時)に英語の歌や物語の放送を各クラスに流す
- 6月26日 南史郎元理事長逝去
- 11月30日 瀧川勝二元理事長逝去

1994年
(平成6年)

1995年
(平成7年)

- 1月17日 阪神・淡路大震災発生
(学園の被害状況)
小学校
●校舎・教室…蛍光灯等備品の転倒・落下や壁面の亀裂
●体育館…隣家との境の塀の倒壊。内外壁面の亀裂・内装はく離等
●給食室…屋根瓦のほとんどが滑落する
幼稚園
●敷地東側の石垣の倒壊
- 1月17日~27日 阪神・淡路大震災のため臨時休校。震災避難者約100名(体育館・多目的教室)
- 1月27日 教職員集合。職員会・議題「授業再開について」
- 1月30日 授業再開。3時限授業(9:00-始業・11:35-終業)
- 1月31日 震災避難者全員退出
- 2月25日 震災直後にもからわず卒業生全員出席し、第92回卒業証書授与式挙行
- 3月1日 5時限授業(9:00~14:00)給食再開。クラブ活動・特別習字再開。職員朝礼再開。私立中学入学試験(1日目)
- 3月25日 第3学期終業式で仮入学児童お別れの会開催

1996年
(平成8年)

- 3月31日 井間稔之学園長・小学校長・幼稚園長退任
- 4月1日 第15代学園長・小学校長・第14代幼稚園長 小倉和美就任
- 10月3日 渡邊潔元学園長・小学校長逝去

1997年
(平成9年)

- 1月 コンピュータールーム開設。(児童用パソコン20台設置)
- 3月15日 潮田義美元学園長・小学校長逝去

須磨浦学園理事長・
学園長の移り変わり

第10代理事長



鈴木治雄

第14代学園長



井間稔之

平成2年11月～平成12年4月

平成3年8月～平成8年3月

1997年
(平成9年)

- 4月 全学年、週1時間のコンピューター学習開始。外国人講師による英語学習(週1時間)を全学年で再開。茶道クラブ、コンピュータークラブ活動開始。(6クラブに)

- 4月30日 国際交流コンサート開催。オットーフロイデンタル(スウェーデン)、シェリー(オーストラリア)が来校し、演奏。翌日の神戸新聞に記事掲載



- 4月 「校訓」を改定、周知徹底をはかる。(多目的教室・校長室に掲示)
1. からだを丈夫にせよ 2. よく学びよく努めよ
3. 辛抱強くあれ 4. 正直にして親切であれ
5. 言語・動作を上品にせよ 6. 自分のことは自分でせよ

- 11月16日 隣接地(86坪)を購入。整地、フェンスを設置し、小運動場として使用

1998年
(平成10年)

- 3月31日 小倉和美幼稚園長退任
- 4月1日 第15代幼稚園長 山本義和就任。(教頭兼務)
- 5月4日 「国民の休日」が実施される
- 5月25日 第11代理事長 小倉良知就任

- 7月14日~20日 アメリカオレゴン州リッチモンド小学校と交流
児童・保護者53名ホームステイ・サマースクールにも参加

- 11月 幼稚園会議室を預かり保育室・セミナー室に改修

- 4月 親子学級を年12回開催。(以後実施)
- 4月 預かり保育が始まる
- 4月 時間割に「総合的な学習」の授業を試行。卓球クラブ活動開始(計7クラブになる)日時計を設置

- 11月 隣接地(64坪)を購入し、整備

- 3月25日 小倉良知元理事長逝去

- 4月4日 第12代理事長 岡崎藤雄就任

- 9月23日~28日 ニュージーランド、カモ・ハイスクール生徒5名来校。交流授業・ホームステイ実施。9月26日神戸新聞に記事掲載

2000年
(平成12年)

2001年
(平成13年)

2002年
(平成14年)

- 3月7日~8日 第70回卒業生、ジャズピアニスト小曾根真氏来校。「課外授業へようこそ先輩」取材4月28日NHKテレビで全国放送される

- 5月20日 「英語で遊ぼう」開始

- 6月29日~7月2日 リッチモンド小学校児童と交流

- 6月30日 学園創立100周年記念として、体育館の幕一式(母の会・同窓会より)、寄贈を受ける。創立100周年記念音楽会挙行。祝歌披露・リッチモンド小学校児童60名参加

- 8月 創立100周年記念として
ブロンズ像の寄贈を受け築山に設置

- 10月5日 須磨浦学園創立100周年記念式典挙行



須磨浦学園理事長・
学園長の移り変わり

第15代学園長



小倉和美

平成8年4月～平成15年3月

第11代理事長



小倉良知

平成11年
135年
3月

第12代理事長



岡崎藤雄

平成13年
234年
5月

須磨浦学園 110年の成長史

2002年～2012年

学園全体で宿泊行事が始まりました。
友達との協力を通し、自立につながる
体験となりました。



2002年 (平成14年)

- 11月21日 NASA 宇宙飛行士のお話を聞く会
- 11月30日 創立100周年作品展
- 12月22日 須磨区青少年育成フォーラム「人権週間」講演会

2003年 (平成15年)

- 1月20日 J-HABSと須磨浦学園とのHAB教育(総合的な学習)
- 1月23日 静岡県私学教育振興会による視察研修
- 3月23日 学研「6年生の科学」6月号
記事取材(子どもにもできる砂金の採集法)
- 3月31日 小倉 和美 学園長 小学校長を退任
- 4月1日 第16代学園長 第16代小学校長 高澤 健児就任
- 7月5日～6日 第1回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会出場 第3位
- 8月11日 幼稚園保育室床暖房工事 4教室

2004年 (平成16年)

- 4月30日 須磨浦学園スポーツデー開催(神戸総合運動公園 陸上競技場)
- 7月3日～4日 第2回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会出場
- 9月6日 バタフライガーデン設置

2005年 (平成17年)

- 2月1日 全校もちつき会
- 2月17日～18日 修学旅行が伊勢から白川郷にかわる ホテル郡上八幡に宿泊
- 2月20日～25日 国際交流プログラム
米国オレゴン州ポートランドリッチモンド小学校訪問
4・5・6年希望者、以後毎年
- 7月1日 第3回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会出場
- 7月11日 茶室「翠瀟庵」お披露目会

2006年 (平成18年)

- 2月7日～8日 6年修学旅行 白川郷・郡上八幡へ
宿泊先がトヨタ白川郷自然学校となる
- 7月12日 国際交流プログラム 中国・上海市民児童園実験小学校 受け入れ
- 9月7日 第2回全日本小学生ゴルフトーナメント決勝大会参加 全日本小学生ゴルフ
トーナメント決勝大会 スナッグクラス2位(リベラヒルズゴルフクラブ)
- 11月20日 高澤 健児 学園長 校長退任
第17代学園長 第17代小学校長 山本 義和就任

2007年 (平成19年)

- 4月16日 漢検 平成18年度「優秀団体賞」受賞
- 4月24日 文科省6年学力調査実施
- 4月27日 スクールカウンセリング開始
- 7月5日～6日 第5回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会出場
選手6名 宍戸ヒルズ
- 7月12日 アカペラ音楽会発表会出演(ハーバーランドスペースシアター)
- 7月23日～24日 【幼稚園】おとまり保育 エーデルささゆりで実施(以後毎年)
- 8月11日 【幼稚園】枕木クライミング設置
- 9月14日 第6回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO カップ全国大会 TV放映 NHK教育
- 10月29日 6年 マイ茶碗作り 和田 桐山先生(以後毎年)

須磨浦学園理事長・
学園長の移り変わり

第16代学園長



高澤健児

平成15年4月
～平成18年11月

第17代学園長



山本義和

平成18年11月
～

2008年 (平成20年)

- 2月17日 マイ茶碗による卒業茶会

2009年 (平成21年)

- 4月24日～25日 1年宿泊訓練「エーデルささゆり」で実施
- 5月18日～22日 新型インフルエンザのため臨時休校
- 6月28日 音楽会を神戸文化ホール中ホールで開催(以後毎年ホールを使用)
- 11月17日 マリスト学園4年生との交流会

2010年 (平成22年)

- 4月27日～28日 1・2年宿泊訓練「エーデルささゆり」で実施(以後毎年)
- 9月17日 コンピュータ教室リニューアル windows7 ノートパソコン導入
- 10月29日 6年生特別授業(小曾根 真さん指導)

2011年 (平成23年)

- 4月1日 ICT WinBird 校務支援システムの導入 通知表・学習指導要領 電子化
- 4月21日 東北地方太平洋沖地震被災地へ贈った「こいのぼり」の取材
読売新聞・産経新聞・朝日放送
- 5月31日 第12代 岡崎 藤雄 理事長 退任
- 6月1日 第13代 角南 忠昭 理事長 就任
- 7月13日 耐震・改修工事(体育館・音楽室・校長室・屋上防水工事)
- 12月14日 途上国政府教育行政視察 各国教育行政官18名

2012年 (平成24年)

- 1月24日 3年環境体験学習 兵庫楽農生活センター(以後毎年)
米国オレゴン州ポートランドへ修学旅行 ホームステイを体験
- 4月16日 放課後英語教室開始
- 4月17日 通知表の評価を、5段階から3段階に変更
- 5月23日 創立110周年記念航空写真撮り
- 7月28日 創立110周年記念講演会 灘中高 校長 和田 孫博様
- 9月8日 創立110周年記念講演会 神戸マツダ 代表取締役 社長 橋本 覚様
- 9月13日 創立110周年記念講演会 H・フロインドリーブ 常務取締役 上原 守様
- 10月5日 創立110周年記念式・記念コンサート(きむらたくやトリオ)
- 10月6日 須磨浦学園創立110周年記念式典・祝賀会
於ホテルオークラ神戸

須磨浦学園理事長・
学園長の移り変わり

第13代理事長



角南忠昭

平成23年3月
～



建学の精神

たくましい身体、思いやりと誇り、伸びやかな知性を育てる

- 1 たくましい身体と心を持った子どもを育てる
- 2 他者への思いやり、社会の一員としての自覚を育てる
- 3 豊かな感性を持ち、自ら学ぶ意欲を持った子どもを育てる
- 4 一人ひとりの能力を引き出し、個性豊かな子どもを育てる
- 5 忍耐力と誇り高さ精神を持った子どもを育てる

1902年から人間教育に努めてきた兵庫県で最古の私立小学校です
子どもたち一人ひとりが、未来へはばたくために

学園長 山本 義和

小学校の6年間、子どもたちは心も体も驚くほど成長します。何かを好きになったり、興味の方向を決めるのもこの頃です。考え方や性格などが形成される最も大切な時期です。小学校で学んだことや先生のひと言が、その後の人生を左右する場合も少なくありません。本学園は、兵庫県で最も歴史のある私立小学校です。「体・徳・知」を教育方針として、バランスのとれた人間教育に努めてきました。恵まれた自然環境に囲まれて、少人数教育にこだわってきました。明るく自由な雰囲気の中で、児童一人ひとりの個性を見だし、豊かに伸ばしています。健やかに、たくましく、情操豊かに育った卒業生は、政治、経済、学術、文化など、各方面で多彩な活躍をしています。多くの方が、国際社会でも高く評価されています。創設から120年、輝かしい伝統と蓄積されたノウハウを生かして、すべての子どもたちが未来へはばたくための基礎をしっかりと築けるよう、学園の総力を挙げて取り組んでまいります。



明治35年11月3日

理想の小学校をめざして神戸の教育人・政財界人が創設

日本が欧米先進国に追いつこうと懸命な努力を重ねていた明治35年(1902)、子どもの教育の重要性を痛感した神戸の教育・政財界のリーダー7人(廣瀬幸平、河上謹一、川崎芳太郎、田中太七郎、鳴瀧幸恭、芝川又右衛門、廣瀬満正)は、理想の幼少教育をめざして須磨浦尋常小学校を創設しました。そこから本学園の歴史は始まったのです。知識の習得を第一にした「知・徳・体」が国家の方針であった当時、体づくりを最も重視した「体・徳・知」の教育方針は画期的なものでした。緑の山と青い海に囲まれた環境の良さから「別荘学校」とも呼ばれ、明治の昔から独自の教育方針を持つ「別格の小学校」として有名でした。



第3代
鈴木光愛校長が
校訓を制定
大正10年に制定
された校訓は、体
づくりを最も重視
した「体・徳・知」
の理想を具体化
したもので、今も
教育の基本精神
として受け継がれ
ています。

- 校訓
須磨浦小学校
- 一、からだを丈夫にせよ
 - 二、よく学び、よく努めよ
 - 三、辛抱強くあれ
 - 四、正直にして親切であれ
 - 五、言語・動作を上品にせよ
 - 六、自分のことは自分でせよ
- 大正十年十一月

品格高き「須磨浦精神」と日本の伝統や文化を学びます

須磨浦学園の教育は、「体育・徳育・知育をバランスよく」が基本です。この基本方針を土台にして、子どもたちの一生を支える“須磨浦精神”ともいべき、品格の高い人間性をじっくりと育てています。どんなに優秀でも、健康でなければ社会に貢献することはできません。体づくりはすべての基本です。本学園では、小学校には珍しい体育専科を置き、「体育」に力を注いでいます。兵庫県の私学では唯一、手作りの温かい完全給食を実施しているのもそのためです。現代社会をたくましく生き抜く「精神力」を身に付けるため、「徳育」にも努めています。基本的な生活習慣、思いやり、自主性、責任感、公共心、集中力、忍耐力、積極性、感動する心、コミュニケーション力。これらは、国際社会で活躍するためには必要不可欠の能力です。少年少女の時代にしっかりと身に付けることが大切です。「知育」では、英語やコンピューターに早くから取り組み、少人数教育ならではの個別指導を徹底しています。一人ひとりの夢と個性を大切に、将来の進路まで考えた指導を行っています。

真の国際人に育ててほしいから、さまざまな体験を用意しています

本学園には、「翠涛庵^{すいとうあん}」という本格的な茶室があります。茶室にかかる扁額は、千宗室茶道裏千家家元の直筆です。茶道は、「侘び」「さび」という日本の美意識やおもてなしの心を伝えるものです。茶道のほか陶芸や書道など、さまざまな機会に日本の伝統文化のよさを体験します。世界中に出かけて、日本のよさを語れる人になってほしいと願っています。



茶道は日本文化の入り口です。精神性を高め、人格形成にも役立ちます。

学校の活動

時間割

学習校時表		1～4年		5・6年	
予 鈴	8:25	予 鈴	8:25	予 鈴	8:25
ホームルーム	8:30 ～ 8:45	ホームルーム	8:30 ～ 8:45	ホームルーム	8:30 ～ 8:45
1	8:45 ～ 9:30	1	8:45 ～ 9:30	1	8:45 ～ 9:30
2	9:40 ～ 10:25	2	9:40 ～ 10:25	2	9:40 ～ 10:25
業 間	10:25 ～ 10:40	業 間	10:25 ～ 10:40	業 間	10:25 ～ 10:40
予 鈴	10:40	予 鈴	10:40	予 鈴	10:40
3	10:45 ～ 11:30	3	10:45 ～ 11:30	3	10:45 ～ 11:30
4	11:40 ～ 12:25	4	11:40 ～ 12:25	4	11:40 ～ 12:25
屋 食	12:25 ～ 13:05	屋 食	12:25 ～ 13:05	屋 食	12:25 ～ 13:05
昼休み・クリンタイム	13:05 ～ 13:20	昼休み・クリンタイム	13:05 ～ 13:20	昼休み・クリンタイム	13:05 ～ 13:20
予 鈴	13:20	予 鈴	13:20	予 鈴	13:20
5	13:25 ～ 14:10	5	13:25 ～ 14:10	5	13:25 ～ 14:10
6	14:20 ～ 15:05	6	14:20 ～ 15:05	6	14:20 ～ 15:05
ホームルーム	15:10 ～ 15:25	イングリッシュタイム	15:10 ～ 15:20	ホームルーム	15:20 ～ 15:30
下 校	15:30(下校指導)	下 校	15:30(下校指導)	下 校	15:30(下校指導)
補習・アフタースクール	15:30 ～	補習・アフタースクール	15:30 ～	補習・アフタースクール	15:30 ～
予 鈴	16:20	予 鈴	16:20	予 鈴	16:20
完全下校	～ 16:30	完全下校	～ 16:30	完全下校	～ 16:30

※1、2年の火曜は、5校時までの為14:40下校(14:15～14:30は、ホームルーム)

須磨浦小学校2022.4.2

●学年・教科担当週時間表

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
各教科	国語	9.5	9.5	8	7	5.5	5.5
	社会			2	3	3	3
	算数	4.5	5.5	6	5	5	5
	理科			3	3	3	3
	生活	3	3				
	音楽	2	2	2	2	1.5	1.5
	図工	2.5	2	2	2	1.5	1.5
	家庭					2	2
	体育	3	3	3	3	3	3
	特別の教科(道徳)	1	1	1	1	1	1
総合的な学習の時間	英語	2	2	1	1		
	情報	1	1	1	1	1	1
	演習					1.5	1.5
外国語活動(英語)			1	1			
	外国語(英語)					2.1	2.1
合計	31.5	31.5	32.5	32.5	32.5	32.5	

●年間授業時数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
須磨浦	1071	1103	1138	1138	1138	1138	6726
文科省	850	910	980	1015	1015	1015	5785
差異	221	193	158	123	123	123	941

令和4年度

クラブ活動

4年以上の全児童で組織し、希望により6つのクラブに所属して実践活動をしています。年度末には、3年生がクラブ見学を行います。

- 1.フィジカルフィットネスクラブ…マット運動や跳び箱、鉄棒の練習を行い、技能修得や体力の向上を目指すとともに、コミュニケーション能力の充実を図る場とする。運動会では、毎年練習の成果を発表している。
- 2.ミュージッククラブ…トランペット等の金管楽器を主とした器楽合奏の練習をし、音楽会や運動会に参加する。
- 3.アートクラブ…クラブ員全員での共同制作を主とし、巨大絵画や巨大工作の作品を作品展で発表する。
- 4.茶道クラブ…日本古来の文化を知り、裏千家の茶道を学ぶ。全校茶道教室では、全校生の模範として、お点前を披露する。
- 5.卓球クラブ…卓球の基本練習やゲームを通じ、楽しみながら運動能力を高めるとともに、コミュニケーション能力を培っていく。
- 6.コンピュータクラブ…コンピュータ操作に慣れ親しみ、時代に即した情報処理ができるようになる。コンピュータでの作品を掲示し、他の児童の関心や意欲を高める。

水泳教室

現代の須磨浦小学校の水泳教室は、安全に泳ぐ力をつけることが第1の目標です。9月より、コパンスポーツクラブ須磨海浜公園で1年、2～4年、5～6年と学年ごとに分け全学年が参加しています。事前に各家庭に健康調査をおこない、校医先生方による眼科、耳鼻科、内科の診察を経て水泳教室参加となります。授業内容は、1回目に当校の体育科教諭と専門コーチが全校児童の泳力調査を行い、泳力ごとにグループ分けを行い、2～5回と体育科教諭、担任教諭、専門コーチが泳法指導にあたります。6回目で専門コーチが各段階に応じた級を決め、進級を行っています。この期間で多くの子どもたちが確実に泳力を身に付け、その中で選抜された3～5年の子どもたちが翌年8月末に行われる、西日本私立小学校連合会主催の記録会に参加し、水泳教室でつけた泳力を発揮し、子どもたち自身が納得する良い結果を記録しています。

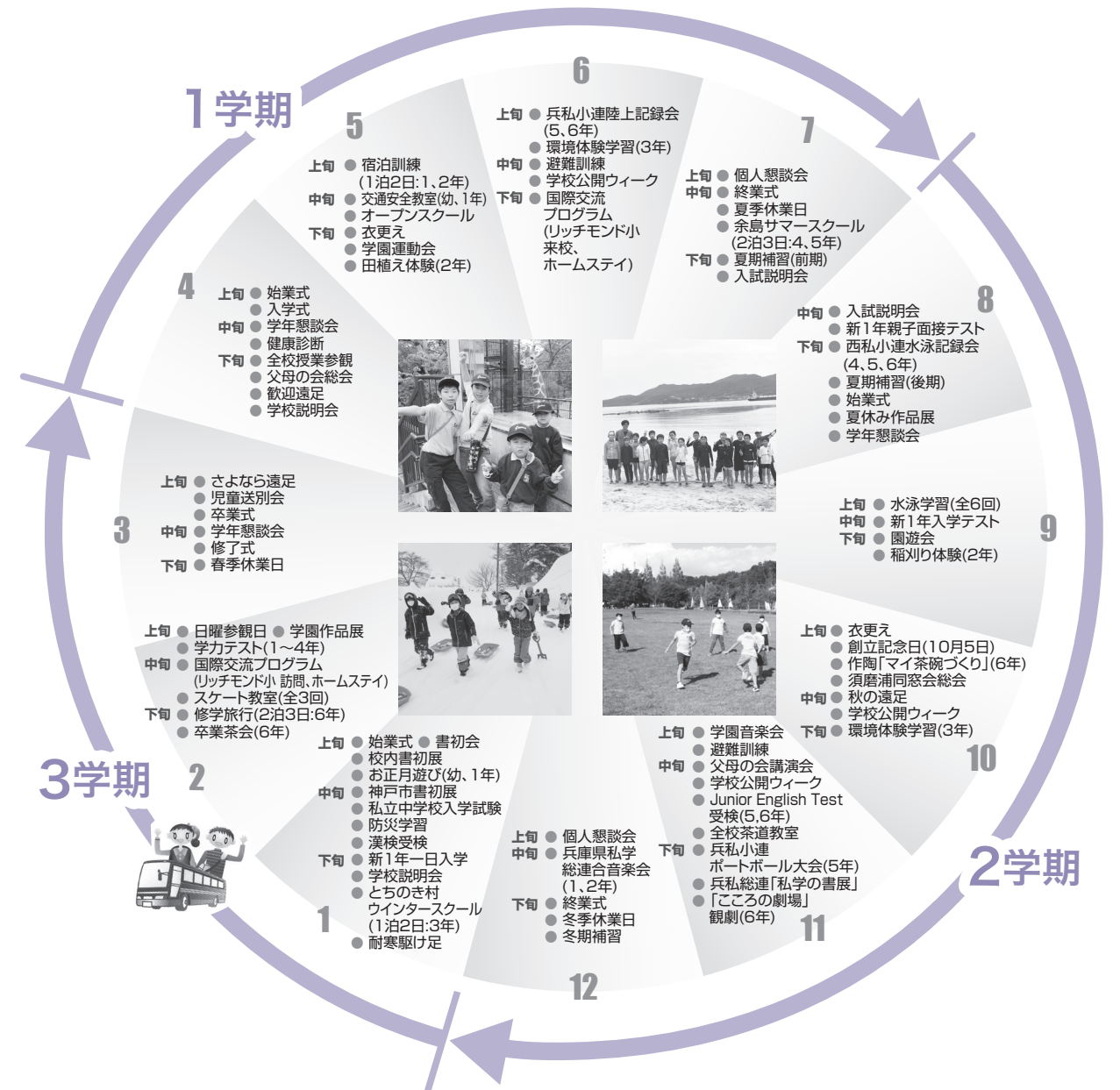


スケート教室

寒さがしみる2月に、スケート教室が計画されます。体育科教諭が全てを立案し、1年から6年までの全校生がスケートを学びます。平成11年度までは、阪神パークスケートリンクを借り切って実施していましたが、平成12年度よりポートアイランドスポーツセンターにあるリンクで、約2時間ほど3日間滑ります。全校生を17班に分け、兵庫県スケート連盟の協力を得てコーチ陣を結成します。必ずヘルメット、手袋をつけ、子どもたちの安全を考え、リンクも白く凍った状態で滑走に入ります。1、2年生は初め滑るより転び方の練習から初め、氷に慣れていきます。3年生以上は、初めからコーチの適切な個人指導を受け色々な技に挑戦し、2回目より3回目と着実に上達していきます。スケートの技術を身に付けると共に、冬の寒さに負けない体力作りを狙っています。



年間行事



学校の活動

1・2年宿泊訓練

平成21年度より、自然豊かな多可郡八千代町の「エーデルささゆり」における宿泊訓練が始まりました。コロナ禍の中、令和3、4年度は時期や場所を変えて開催しました。

入学して2週間余りの子どもたちが、若葉芽吹く新緑と新鮮な空気に包まれて2日間を過ごします。

1、2年生合同の行事で「体育基本練習」「野山散策」「キャンプファイヤー」などに取り組みます。つい1か月前まで1年生だった新2年生が、上級生という自覚を持ち、新1年生に教えている姿は大変ほほえましいです。

学校に帰ってきた子供たちの表情からは、親元を離れさまざまな体験をしてきたという自信がうかがえます。

テレビもゲームもないところで、自分で身の回りのことを行い、友達と協力しながらさまざまな活動を体験したことは、すべて今後の学習活動へと結びついていくでしょう。



3年ウインタースクール

冬山のプログラムを体験させたいという思いで、平成16年度より岐阜県・白川郷「トヨタ自然学校」での宿泊訓練が始まりました。令和2年度からは兵庫県内の美方高原にある「とちのき村」で開催しています。

寒さも厳しい1月下旬、屋根まで積もった雪で辺り一面真っ白な中、友達と協力しながら「かまくら作り」をします。夜には作ったかまくら内にキャンドルを点けて、幻想的な「キャンドルナイト」を楽しみます。

翌朝は、スノーシューを履いて、自然林の中へ分け入ります。ウサギやキツネ、タヌキの足跡など野生動物の痕跡を見つけたり、圧雪されたスキー場などとは違った手つかずの冬山の様子を観察したりします。その後は、山の斜面を利用したそり滑りや雪合戦などして楽しめます。

1泊2日の宿泊訓練を通して、豊かな冬の自然に触れるとともに、自主自立、友達との協力の大切さに気づいていくことを狙いとしています。



4・5年サマースクール

都会で生活している子どもたちに、海洋プログラム等を通して自然に触れ、自然に対する畏敬を感じ、地球環境への思いを馳せるきっかけになればとの願いをこめて、昭和52年より小豆島に隣接した神戸YMCAの「余島野外活動センター」での、サマースクールを開催しています。平成23年からは4、5年生のみの参加となりました。

余島では5つのクラブ(ヨット、カヌー、アーチェリー、アドベンチャー、つり)に分かれて2泊3日の野外活動をします。

ヨットクラブは、ロープワークの基本から教わり、OP級ヨット(一人乗り)を機装し、海上では風の向きと強さを考えながら一人で操船します。

カヌークラブは、4人乗りのカナディアンカヌーを使います。パドルの操作を教わった後はすぐに海上に出ます。ミニレースをしたり島の周りを一周したり様々な課題にみんなで力を合わせて取り組みます。

アーチェリークラブは、森の中に設営されたアーチェリー場で、本格的なアーチェリーを体験します。弓を引き、的を狙う視線は真剣そのものです。

アドベンチャークラブでは、島全体が活動の場となります。竹を切り出し、食器を作り、薪を拾って火を起し、野外調理を行います。テントを設営して寝袋で寝ることもあります。また、磯遊びでは海辺に生きる生き物を観察します。

つりクラブは、岩場から磯釣りを体験します。アイナメやベラなどが釣れます。釣り上げた魚は、唐揚げや煮付けにいただきます。

1日目の夜はキャンプファイヤーが行われ、2日目の夜の「余島ナイト」では、野外集会場でさまざまな趣向を凝らしたスタンプが繰り広げられた後に、人工光のない浜辺で、満天の夜空を見上げながら星空の観察会を行います。

神戸へバスで戻った子どもたちの顔は皆赤く日焼けし、ひとまわりもふたまわりも遅く見えます。今年44回目を迎えた余島サマースクール(令和2、3年はコロナ禍により中止)は、須磨浦小学校を代表する宿泊行事として、これからも長く続いていくことでしょう。



6年修学旅行

修学旅行については、長年、伊勢志摩方面へ行っていましたが、平成16年度から岐阜県は白川郷・郡上八幡へ変更となり、平成23年度から米国オレゴン州ポートランドへのホームステイを実施していました。その後、平成26年度から平成31年(令和元年)度までは沖縄県へ2泊3日の修学旅行を実施しました。沖縄では平和祈念公園やひめゆりの塔を訪れたり、戦争体験者の講話を聴いたりして「平和学習」を行いました。また、首里城公園や沖縄ワールドを訪れ「琉球文化を学ぶ学習」や、美ら海水族館や万座毛を訪れて小学校生活最後の思い出作りを行っていました。

残念ながら、令和2、3年度はコロナ禍のため、日帰り県内の鶴野飛行場跡を訪れて「平和学習」を実施しました。令和4年度は先行を長崎に変更し、原爆資料館での「平和学習」や雲仙岳での「災害学習」を実施する予定です。



120年目の子どもたち 幼稚園

入園式



春のなかよし遠足・秋の遠足



お誕生会



学園運動会



おとまり保育



120年目の子どもたち 幼稚園

学園音楽会



学園作品展



生活発表会



さよなら遠足



保育修了証書授与式



120年目の子どもたち 1年生

入学式



参観日



歓迎遠足



1・2年宿泊訓練



120年目の子どもたち 2年生

入学式



運動会



音楽会



さよなら遠足



秋の遠足



1・2年宿泊訓練



120年目の子どもたち 3年生



120年目の子どもたち 4年生



120年目の子どもたち 5年生

スケート教室



田植え



園遊会



お弁当給食



iPad 導入



秋の遠足



120年目の子どもたち 6年生

歓迎遠足



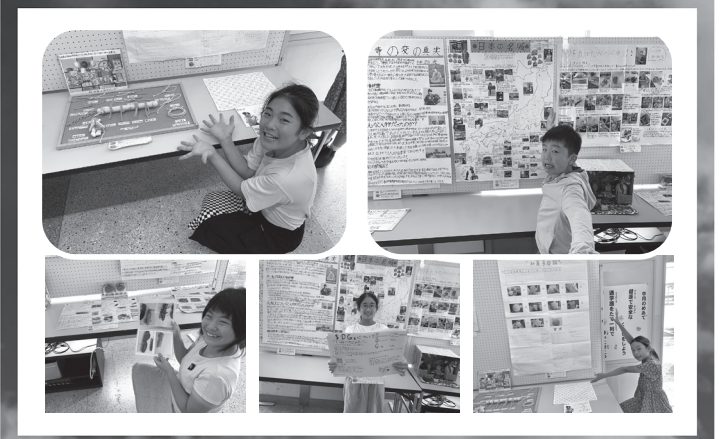
秋の遠足



1・2年宿泊訓練



夏休みの作品展



音楽会



創立120周年記念学園運動会



卒業生数

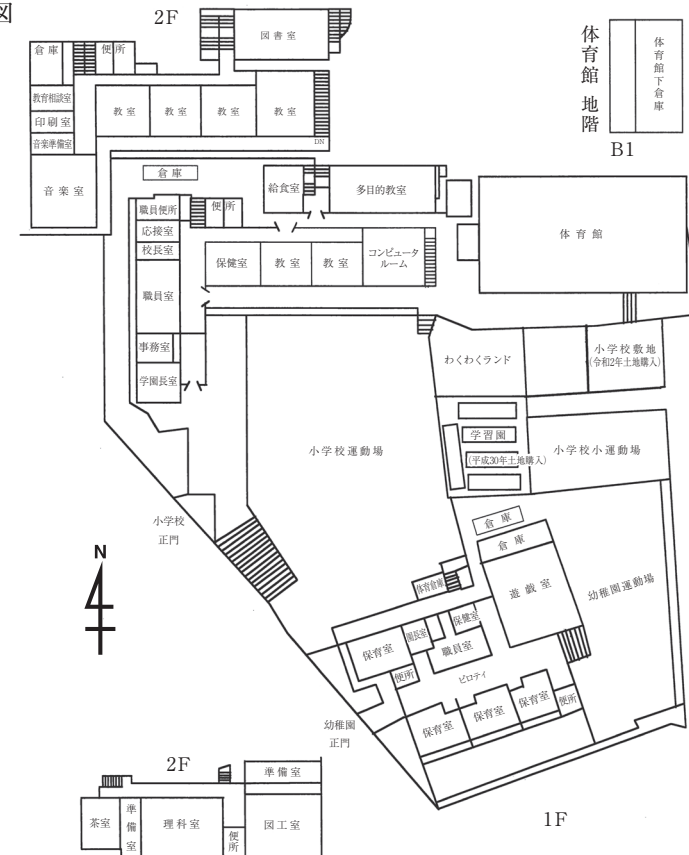
学校法人 須磨浦学園 須磨浦小学校 卒業生数

回	男	女	計	回	男	女	計	回	男	女	計	回	男	女	計
1	1	0	1	36	8	14	22	71	23	20	43	106	23	14	37
2	6	2	8	37	16	14	30	72	33	13	46	107	24	15	39
3	5	6	11	38	12	7	19	73	21	18	39	108	24	12	36
4	4	3	7	39	6	10	16	74	18	18	36	109	15	20	35
5	7	5	12	40	5	5	10	75	23	13	36	110	23	10	33
6	2	0	2	41	5	4	9	76	22	18	40	111	15	17	32
7	6	5	11	42	10	10	20	77	18	18	36	112	23	12	35
8	6	8	14	43	7	12	19	78	19	21	40	113	23	8	31
9	7	6	13	44	17	13	30	79	20	18	38	114	20	8	28
10	4	8	12	45	9	19	28	80	14	19	33	115	12	8	20
11	6	4	10	46	14	15	29	81	18	14	32	116	15	15	30
12	8	6	14	47	6	12	18	82	13	14	27	117	14	8	22
13	8	3	11	48	8	14	22	83	23	12	35	118	13	9	22
14	10	8	18	49	14	13	27	84	17	8	25	119	13	11	24
15	15	6	21	50	8	10	18	85	16	15	31				
16	15	4	19	51	12	22	34	86	19	14	33				
17	14	6	20	52	26	11	37	87	9	7	16				
18	10	6	16	53	23	16	39	88	23	11	34				
19	9	6	15	54	10	9	19	89	22	18	40				
20	12	15	27	55	16	14	30	90	13	11	24				
21	13	11	24	56	22	20	42	91	16	12	28				
22	16	13	29	57	25	13	38	92	24	13	37				
23	11	13	24	58	22	19	41	93	23	15	38				
24	5	16	21	59	19	22	41	94	23	9	32				
25	16	14	30	60	25	13	38	95	17	19	36				
26	16	10	26	61	18	21	39	96	19	19	38				
27	15	12	27	62	21	11	32	97	14	15	29				
28	26	9	35	63	17	22	39	98	16	6	22				
29	12	6	18	64	25	10	35	99	16	12	28				
30	14	17	31	65	25	12	37	100	20	4	24				
31	10	10	20	66	23	13	36	101	21	16	37				
32	16	10	26	67	18	16	34	102	17	9	26				
33	14	12	26	68	18	14	32	103	18	17	35				
34	17	9	26	69	21	11	32	104	17	17	34				
35	13	13	26	70	20	19	39	105	24	15	39				
	369	282	651		551	480	1031		669	498	1167	総数	1846	1427	3273

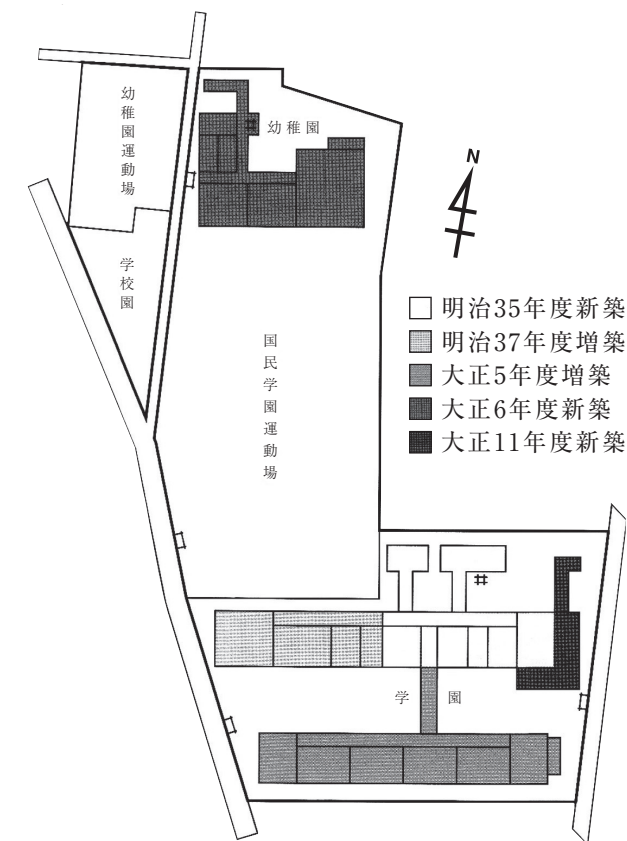
校舎平面図

歴史の積みかさねにあわせて、校舎は大きくなりました。

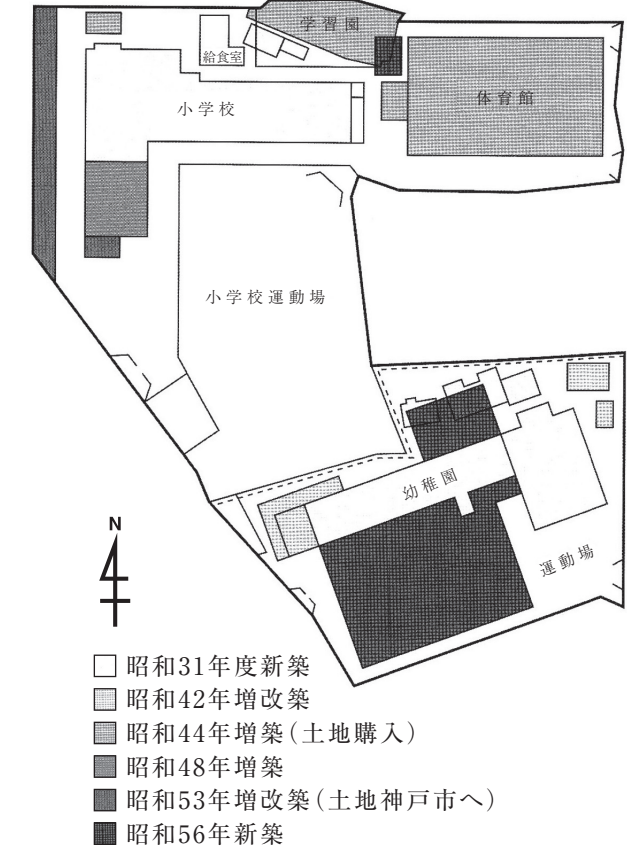
須磨浦学園校地校舎平面図
(2022年現在)



(1956年以前)



(1956~1981年)



校歌

一、鉄拐峯頭松青く
長汀曲浦砂白き
天下の名勝須磨台に
基かためし我が学園

二、二百に余る鳳雛が
翼を伸ぶる朝陽の
光に生きて海山に
見よはばたきの雄々しさを

三、今関守の夜は明けて
自彊の鐘は高なれり
遠き前途に赫ける
希望の洋に雄飛せん

校歌 作詞 三角多三郎 作曲 森下 ます (文正11年10月4日 (1922年))

て にか めい しょ して すか まだ い に
て かり の に いせ ひと にか がや ち
ひ かい うま の の あ ー まは づあ おう かく
ま せ せ の の は ー た だ な な くれ のり
い せ せ の の は ー た だ な な くれ のり

役員

理事長	角南 忠昭
常務理事	山本 義和
理事	岡崎 藤雄
理事	鍛治川 清司
理事	森脇 正子
理事	濱田 賢太郎
理事	上田 亜也子
理事	岩渕 正文
理事	玉井 英夫
理事	西村 政洋
理事	泉 藍

監事

神木 規人
中村 和浩

須磨浦学園の歴史を永遠に語りつぐ120年史の発行を、あなたとともによろこびたい私たちです。
発刊にご協力していただきました皆様方に深く感謝し、御礼申し上げます。

須磨浦学園120年史

編集 須磨浦学園 同年行事 実行委員会(須磨浦学園 教職員)
 発行者 理事長 角南忠昭 学園長 山本義和 発行年月日 令和4年 10月 5日
 表紙・航空写真 ユニオン・エンタープライズ株式会社
 編集協力 山野印刷株式会社



学校法人 須磨浦学園